

さなさん「ひとのこころのふれてはいけない・・・とこころ？
そのこと、きづいたから・・・」

すみっこ「いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした」
 ひまわり「はえ、おきやくさんみたいです。ひま。にここに。」

すまいるのごしゅじんさんの、ひまわりっています。」

ひまわり「おきやくさんに、ここがどうゆくとこか、いますね。」

ここは、えと、はえ、なんでしたっけ。

たしか、そうよがつこつてゆ、がつこのなかにある、

けあかへすまいりすまいる、ってゆ、きつちやてんでしたっけ。

そこにいらっしやる、いろいろなことをかかえてる、おきやくさんたちに、
 きつちやてんの、じょれんさんのひとたちが、いろいろなそうだんをきくとか、
 いろいろな、あどばいすをするってゆ、そゆとこだったとおもいます。」

ひまわり「ここで、はなされるいきづらさと、おなじようないきづらさを、おきやくさんが、

かかえることになったときとか、いきていくうえでの、なやみや、

だれにもいえないことや、かなしみとか、それから、えと、はえ。

ほかに、くるしことや、そんなことをもつときになったときにです。

そゆとき、ここのおはなしを、ごじぶんのことのようにおもったり、

ここでできたことや、はなされたことをおもいだしてほしです。

そうすることで、いまか、いつか、おきやくさんにとって、げんきがでるとか、

はげましになったり、なやみをよくするとか、いきづらさがかるくなるとか、

ほかに、えがおになるってゆよくに、このきつちやてんできいたことを、

おやくにたててもらえると、うれしくなると、おもってます。」

ひまわり「すまいるにきたことで、みなさんのこころのなかに、なにか、のこって、

おきやくさんがきていくうえで、すまいるでのおはなが、

おやくにたてればうれしくなると、ひまわりはおもってます。

よければ、こしぐぬでも、のんでいってください。

じゃ、はい、こしぐぬです、どうぞ。」

さつく「いきづらさに、やくにたつことを、スマイルでみつけてほしいっておもなんだ。」

まゆゆ「だ。オレたちと、スマイルにやってくる、きやくたちのはなしのなかで。」

なすな「おきやくさんのいきづらさが、すこしでもかるくなれば、うれしいですわあ。」

すみっこ「ひまり、そのコーシーグーヌ、しょうみきげんが、いちねんくらいすぎる。」

ひまわり「はえ。」

[care-cafe : smiley-smile]

「いきたあかしか、いきたいみて、どぅゆゑもので、
どぅゆゑふゑにしてみつけて、のこすんでしょるか？」

[care-cafe : smiley-smile : 01]

すみっこ「そして、べつのひ。

のんびりとすず、いつもどおりのスマイルのきつさてん。

いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした」
 さつくん「あー、いちげんさんだー。いやっはー」

まゆゆゆ「いやはっ。めんどくせえのがきたな。なんだ？」

なずなず「いやっはあ。なにかおはなしですやるかあ？」

すみっこ「ほえくんとした、じよし、スマイルにやってきた」

じよし「はえ、あの、けあかへ、すまいりすまいるさんって、どこでしょう？」

さつくん「どこかってゆーより、ここがスマイルだよー」

じよし「はえ、ここでしたか。ごじかんくらい、まよいました」

さつくん「どっひゃー、まよいすぎだよー」

じよし「がっこーにきたの、きょくがはじめてなんです」

なずなず「それでまよったんやね。で、なにかおはなしですやるかあ？」

じよし「はい。ここでおはなしをきいてもらえるってきいて、

おはなししたいことがあって、きました」

まゆゆゆ「そうか、ならとりあえず、あだなでもかんがえとけ。

ここでは、むかしっから、あだなでよびあうことになってんだ」

じよし「はい、じゃ、ひまよりってよんでください」

さつくん「ひまーりさん、なんのはなしなのー？」

ひまより「かたっぽのが、びょくで、すこしうごきにくいんです」

まゆゆゆ「ざけん、んなことくらいか。きあいでなんとかしろっ」

さつくん「まーまー、まゆゆゆー」

ひまより「おいしゃさんとか、まわりのおとなのみなさんは、

きつとよくなるよっていつてくれます」

なずなず「なら、よくなるとおもいますわあ」

まゆゆゆ「そうだ、そういういまだけのことなら、かたほうのてなんていう、
 んなこまかいこと、きにすんなっ」

ひまより「でも、びょーいんのおいしゃさんと、ひまよりのおとーさん、おかーさんが、
 ヒソヒソはなしてるのを、こっそりきいたんですけど、

ほんとは、しんこーせーのきんにくのびょくきってゆーので、
 からだじゅーのきんにくの、ちからがどんどんよわくなってって、
 しまいには、ずーっと、ねたきりになるらしくです」

みんな「・・・っ!」

ひまより「からだがうごきいまのうちに、

いきたあかしとか、いきたいみをみつけて、のこしたいんです。

それで、ききたいことなんです。いきたあかしとか、いきたいみって、どうゆうもので、どうゆうふうにしてみつけて、のこすんでしょーか？」

まゆゆ 「んなこと、かんがえたことねえ」

さつくん 「うーっん、さつくんにもわかんないよー」

なずなず 「むずかしいしつもんやわあ」

すみっこ 「いきたあかしや、いみとがどういふものかというのは、

ひとにきくことではなく、じぶんでさがすことだとすみれはおもう。

なぜかという、いきたいみや、いきたあかしというのがなにかは、

ひとによってちがうから。こどものためだとか、ゆうめいになりたい、

えらくなる、とくべつなひととすごすじかん。いみをかんじることや、

のこしたいことというのは、いろいろ、ひとによってちがうとおもうよ。

だから、そのことは、じぶんでさがすことがひつようなんだよ。

でも、みつけかたについては、ひまりさんを、たすけたいとおもうよ」

まゆゆ 「だな。さがすてたいはすっぞ」

さつくん 「ほんとだねー。じぶんでさがすことだねー」

なずなず 「ひまありさんが、いままでいきてきたなかで、

だいじにしてきたことって、なんなんですよるかあ？」

ひまーり 「はえー、おとーさんと、おかーさんに、

よろこんでもらえるようにすることです」

すみっこ 「そこに、かぎがあるかもしれない」

さつくん 「なら、おとーさん、おかーさんによるこんでもらえることに、

じかんをつかうのが、ただしーとおもうよー」

まゆゆ 「だな、オレもそうおもうぞ」

ひまーり 「はえー、おしえてもらったことと、ちがうことってごめんさい。

おとーさん、おかーさんは、ひまーりに、のこりのじんせーを、

せーいっぱい、いきてほしくみたいで、

そーするのがよろこんでもらえるみたいですよ」

なずなず 「なら、せえいっぱい、いきることやわ。それが、ひまありさんのためにも、

だいじにおもてはる、ごりよおしんのためにもなるとおもうでえ」

ひまーり 「そーですかー、そーですねー、そーします」

さつくん 「ひまーりさんが、びょーきが、じつはおもいつてことをしってるってこと、

ひまーりさんの、おやごさんは、きづいてるのー？」

ひまーり 「きづいていないみたいです」。

きつとよくなるからねって、りはびりのときにいつもいってもらって、はげましてもらって、ひまうりも、おとくさん、おかくさんのまえで、びょうきがおもいことに、きづいていないふりをしてます」

すみっこ 「ひまうりさんも、おやさんも、おたがいのために、ほんとうのことを、しらないふりをしてるんだね」

なずなず 「なずなずたちがいのひとは、ひまありさんのびょおきのこと、しらへんのやね」

ひまうり 「はい、そうです」

さつくん 「だれにもいえないのって、くるしーよねー」

ひまうり 「はい、そうです」

まゆゆゆ 「なるほど・・・で、せいっぱいいきる、か。

なにかがのこることで、なにをせいっぱいするか、だな」

みんな 「・・・うーん・・・」

なずなず 「すみっこちゃん、かんがえがいきづまったし、

きぶんをかえるのに、コーシーグーヌーもらってええかな？」

すみっこ 「うん。ごそごそ。はい」

さつくん 「さつくんももうねー。ごくごく。すみっこのコーシーグーヌー、おいしーなー」

ひまうり 「はえ、すみっこさん、すまいるさんのごしゅじんさんなんですな」

まゆゆゆ 「しゅじんというより、スマイルのてっだいがかりだ」

なずなず 「むかしのしゅじんのひとが、もおそつぎようして、いいひんねん」

さつくん 「すみっこのほかの、いまここにいるひとたちは、

みんな、スマイルのじょーれんの、おきやくさんだよー」

ひまうり 「はえ・・・」

すみっこ 「りょうり、そうじ、せんたく、かたづけ、なんでもするよ」

さつくん 「ひまーりさんも、コーシーグーヌーのんでよー」

ひまうり 「はい、いただきます。ごきゅごきゅ・・・がはっがはっ、げはっげはっ」

なずなず 「だいじょおぶう？」

すみっこ 「ごめん、おいしくなかった？」

まゆゆゆ 「つかしいな。スマイルのコーシーグーヌーは、

そういうのめいぶつになるくらい、うまいはずなんだが」

ひまうり 「はえ、ひまうり、のどのきんにくがすでによわって、

それでむせたみたいですよ」

まゆゆゆ 「わりい、きづかなかった」

すみっこ 「ごめんね」

なずなず 「そうやったんやあ、むせたんかあ」

さっくん 「よけーなものですめたみたいー、ごめんー」

ひまうり 「はえ・・・」

すまいるさんのごしゅじんさんを、やりたいです。

すまいるさんのみなさんに、いろいろたすけてもらえて、

すまいるさんって、すてきなことになっておもらったんです。

すまいるさんにくる、いろいろなひとはなしをきいて、ちからになって、

いろいろなひとたちのところに、なにかをのこすことをしたいです。

すまいるさんで、ひまうりがびよきでも、

なにかをやりとげられるっておもいたくて・・・。

すまいるさんのごしゅじんさんになるの、だから、ぜひしたいです。

でも・・・びよきの、ひまうりなんか、できるでしょうか？」

まゆゆ 「おおバカおんなかテーマはっ！だれだってはじめは、じしんなんてねえんだぞっ！

じしんなんていうのは、つまかさねていくもんだっ！

さいしよはむりだとおもっても、やってみればしぜんとついてくんだっ！

オレだって、とくしゅがつきゅうにかようことになったときに、

さいしよ、さんざんじしんをなくしたんだぞっ！

だがいま、けんどうをやって、べんきようもひっしになってやって、

・・・それでいまなんとかなってんだっ！」

さっくん 「きょーの、まゆゆは、よりいっそーあついなー」

なずなず 「まゆゆくんのゆうとおり、じしんはあとからついてくるとおもうでえ」

さっくん 「がんばるほーが、なにもしないでいるより、よっぽどいーことだよー」

すみっこ 「ひまりさんは、のこしたいことというのをみつけたんだ。

くるしいかもしれないけれど、やりとげてほしい」

ひまうり 「はえ・・・」

・・・、

・・・、

・・・・・・、やります」

なずなず 「よかったわあ。ええことやでえ」

さっくん 「そっかー、いっしよにがんばるーっ」

まゆゆ 「すきにしろ、テーマがえらんだことだる」

すみっこ 「うれしい、げんきになってもらえて」

ひまうり 「はい、みなさんといっしよに、がんばります」

さっくん 「ひまーりちゃん、りょーりって、どれくらいできるのー？」

ひまうり 「はえ、ずーっとまえに、ちよーりじっしゅーでしました」。

そのほかには、したことはないです」

まゆゆゆ 「んなもん、すこしずつおぼえてけ」

なずなず 「レンジで、れえとおタイヤキを、かいとおするくらいからはじめてみいやあ」

さつくん 「そーだよー、タイヤキたのしみー」

ひまうり 「はえー、れんじって、つかったことはないです」

なずなず 「えっ、めずらしっ」

まゆゆゆ 「なら、かんたんにつくれるラーメンつくるくらいでもいいぞ」

ひまうり 「はえー、そーゆーのも、つくったことはないです」

すみっこ 「コーシーグーヌーのつくりかた、おしえるよ」

ひまうり 「はえー、こーしーをつくったこともありません」

まゆゆゆ 「おいおいっ」

さつくん 「ちょーりじっしゅーができるなら、それでおげだよー」

ひまうり 「はえー、むかし、ちょーりじっしゅーのときに、

ひまうりのつくった、おりよりでー、

がっこうじゅーの、みなさんぜーいんが、しょくちゅーどくになりました」

みんな 「まじかよっ!」

ひまうり 「ひまうり、がんばります」

みんな 「がんばるのはいいけど、だいじょうぶなのかよ、このこはっ!」

すみっこ 「そして、べつのひ。

いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした」

ひまうり 「はえー、あのー、けあかへ、すまいりすまいるさんって、どこでしょうか?」

さつくん 「ここだよーって、あれー、ひまーりちゃん?」

ひまうり 「はえー、ここでしたか。ななじかんくらい、まよいました」

みんな 「って、もうわすれたんかーいっ」

[care-cafe : smile-smile : 01]

「だれだってはじめは、じしんなんてねえんだぞっ!

じしんなんていうのは、つみかさねていくもんだっ!

さいしよはむりだとおもってても、やってみればしぜんとついてくんだっ!」

「いみをかんじることや、のこしたいことというのは、

いろいろ、ひとによってちがうとおもっよ。

だから、そのことは、じぶんでさがすことがひつようなんだよ」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまうり「なずなななずさんに、りんごさんをむいてあげます」

なずなず「ひまありちゃん、ありがとおやでえ」

ひまうり「しやりしやりしやり・・・あ」

まゆゆゆ「どした？ゆびでもきったか？だいじよぶか？」

ひまうり「まちがえて、たねをむいてとってしまいました」

すみっこ「ふつう、とる」

さつくん「どひやひやひやひや、ほんととはタネごと、たべさせるつもりだったんかいー」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまうり「あのー、このまえ、がっこうの、ものかげをあるいてたんですが、

なぜか、みどりいろのえきたいがたくさんおちてたんです。

あれ、なんだったんですかねー？」

すみっこ「それ、せいとかいちちょうの」

すみっこ「そして、べつのひ」

なずなず「はえー、しゅっぱんさしどめになるようなことしましよーか？」

さつくん「あのー、ひょーげんのじゅーは？」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまうり「できましたー、ひまりすぺしやるいちごです。

かえるさんのひものをつかった、おりよりをつくりました」

なずなず「わあ、たのしみい、って、え・・・カエル？」

まゆゆゆ「おい、これ、トカゲのえさか？」

さつくん「どひやひや、なまなましくて、おしよくじどきには、みたくないな」

すみっこ「ここ、モザイクかけといて」

ひまうり「いちやぼしです。うーん、おいしそーで、よだれがでます」

みんな「どういうみかくと、びてきかんかくしてんだっ？！」

すみっこ「なんていうまえの、りょうりなの？」

ひまうり「はい、むげざっぱです」

みんな「なんともあやしいなまえだっ！」

さっくん「あいてのひととおなじようになったことのない、さっくんたちが、いちげんさんにいろいろいって、そんなの・・・許されるの？」

「わたしたち・・・こどもができて・・・」

[care-cafe : smiley-smile : 02]

すみっこ 「いまはのどかな、ひるさがりの、スマイル」

さっくん 「そとはあったかいけど、きょうもタイヤキが、

かいとーしきってなくてカチカチだなー」

まゆゆ 「このタコヤキも、レンジであつためたはずなのに、まだそうとう、こおってっぞ」

なすなす 「なすなすのコーシーグーヌーも、こおってるわあ」

さっくん 「どうやってコーシーグーヌーを、こおらすんだか。どひゃひゃひゃひゃ」

ひまゝり 「はえ〜？」

あゝ、だれかおみえになりましたゝ。ひまゝ。にこにこゝ」

じょし 「ひまです」

だんし 「こんにちは。ひま」

ひまゝり 「ねむたそゝですねゝ、ねむたいさんゝ。

ごむたそゝですねゝ、ごむたいさんゝ」

すみっこ 「ねむたいさんは、ねむたそうなおとこのひとで、

ごむたいさんは、おとなしそうなおんなのひと」

まゆゆ 「おいひま、ごむたそうって、

なんかぶんぼうじょう、むりがあることば、つかってっぞ」

さっくん 「カップルさんですかニヤー？」

まゆゆ 「あんま、んなこと、うれしそうにきくな」

ねむたい 「そうだよ」

ごむたい 「そうです」

ひまゝり 「まず、こゝしゝぐゝぬゝでもゝ。どゝぞゝ」

ねむたい 「ぐびぐび。おいしい」

ごむたい 「ごくごく。あまいですね」

すみっこ 「どっちもはずれだったもよう」

さっくん 「こおってなかったかー。して、ほんじつはどんなことですかニヤー？」

なすなす 「なんか、しんこくそおやねえ」

ごむたい 「まあその・・・」

ねむたい 「うん・・・」

さっくん 「ニヤハハハハハ」

まゆゆ 「おいこらさくつ、まじめなはなし、すつみてえなときにつ」

すみっこ 「さくらのすきそうなはなし」

ごむたい 「わたしたち・・・こどもができて・・・」

さっくん 「どっひゃー、オギヤーができた、オギヤーができた、めでたーーーーーーいっ」

まゆゆ 「おいっ、ぜんぜんめでたくねえぞっ」

さっくん 「えー、なんでー？」

ひまうり 「はえ〜？」

なすなす 「おふたりとも、なすなすたちとほとんど、としがかわらんみたいやのに、こどもができるとなるとなあ」

さっくん 「オギヤーができたんだよー、めでたいよー。こだからにめぐまれたんだよー」

まゆゆゆ 「どうやってそだてるつもりだっ。ことのおおきさ、わかってねえだろっ」

さっくん 「えー、うーんー、そりゃー、ぼにゅーをあげてー、がっこーいかしてー」

まゆゆゆ 「オメーはもういい。で、アンタら、おろすかどうかでなやんでやがんだな？」

ねむたい 「うっ」

ごむたい 「そうです」

なすなす 「おふたりのかんがえとしては、どおなん？」

ねむたい 「ぼくとしては、おろしたほうがいいかなって」

ごむたい 「いやっ、あたしはそんなのいや、ぜったいうむっ」

なすなす 「おふたりのかんがえが、べつべつなんやねえ」

まゆゆゆ 「たちわりいな。で、なんでふたりはそういうふうにかんがえてんだ？」

ねむたい 「やっぱり、そだてるのがたいへんで、ふたりのしょうらいをかんがえると、

おろすのがいちばんいいかなっておもうんだ」

ごむたい 「わたしは、すきなひとのこどもをおろすなんて、ぜったいいやです。

もう、いのちをもつてるこどもなのに・・・うう・・・」

ひまうり 「はなしが、ひーとあつぶしてきたからか、こおってた、たいやきがとけてます」

さっくん 「なんか、こういうはなししてるのか、よくわかんないけど、

ぱくぱく。おいしいね、タイヤキ。まゆゆゆもタコヤキたべたら？」

まゆゆゆ 「ガキは、だあってる。

にしても、ふざけたおとこだな。テメー、それでもおとこだか？」

ねむたい 「げんじつてきにかんがえると、しょうがないよ」

まゆゆゆ 「ざけんなっ、テメーがつくりたくてかってにつくったガキだろっ！

やりたいことやっというて、せきにんとれねえなんていうなっ！

オレはテメーみてえな、せきにんとれもしねえことをするやつと、

せきにんのがれをするやつが、でえつつっつきれえなんだっ！

おとこだったらせきにんとれっ！ふたりのしょうらいっていうが、

はらんなかにてきてるガキのしょうらいを、ちっとはかんがえやがれっ！」

ねむたい 「う・・・」

ごむたい 「ひっく・・・ひっく・・・」

さっくん 「うーん、きょーのまゆゆゆは、いちだんとあついなー」

なずなず 「まゆゆくん、こんかいのおはなしは、かなりおもしろいことみたいやし、

けつろんはださずに、もんだいのせえりだけにしとおやあ」

まゆゆゆ 「そうか？なら、このせんいんのかんがえをきいとくか。」

みんな、うむかうまかないか、どっちにすべきだとおもう？」

さつくん 「そりゃー、うむべきだよー。せっかくできたんだしー。」

よのなかには、オギヤーがほしくて、できないひともいるんだよー」

ひまうり 「はえー。よくわかんないですけどー、あかちゃんがかわいそうですしー、

いのちをうばうのは、やめとくのがいーかなうって、ひまうりはおもしろい」

まゆゆゆ 「うめ。りゆうはさっきいった」

すみっこ 「ねむたいさんのいうとおり、げんじつてきにかんがえるべき。

うんでも、おやも、こども、そのかぞくも、みんなふこうになるだけ」

なずなず 「ううん、おふたりがどおすんのか、よおわからのやけど、

なずなずがおなじたちばやったら、おろすかなあ」

まゆゆゆ 「だよ」

すみっこ 「せきにんろんをいってもしかたない。

そして、これからどうするかをかんがえたとき、

いちばんメリットがおおきくて、デメリットがすくないのが、

だたいさせることだとおもう。

ただし、おんなのひとへの、きもちからだのくるしさは、

はかりしれないことになる」

ひまうり 「ひまうりが、まえに、ときゆめんだりえーがで、

びょーいんで、だたいのしゅんをみたことがあるんです。

こんなめにあうなら、こどもができるようなことを、

かんたんにしちやいけないんだなうっておもいました。

ほんとーに、おんなのひとは、こころもからだも、

すみっこさんのゆーとーり、すぐきずつくとおもいます。

たぶん、うまれてこなかったこどものことで、いっしょくくるしみつづけます」

みんな 「……」

まゆゆゆ 「つぎやがってっ！それでも、おとこはいろいろしたがりやがんだっ！」

すみっこ 「それと、もういってもしかたないことだけど、

どれだけこどもができないようにきをつかって、できるときにはできる。

ぜったいうみたくないなら……できるようなことをしないっていうことだけ。

そういうものなんだって、みんなにおぼえておいてもらいたいのっておもうんだ」

なずなず 「そうやね、きいつけななあ。なずなずの、だいがくいんせえの、おとこさんが、

なすなすに、ゆびいっぽんふれへんのも、きつと、そおゆうかんけえなんやわあ」
 ひまうり「はえ、なすなすさんのおとこさん、りっぱなおとなです」
 さつくん「せけんでは、よくおるすおるすってゆーよねー。」

まゆゆゆ「まわりがどうかなんてかんけいねえ。じぶんがどうおもうかだ」
 すみっこ「まわりにながされてこいびとをつくって、まわりにながされてこどもをつくって、まわりにながされてこどもをおろしていく。そういうのが、いまっていうもの」
 なすなす「わかいひとにかぎらず、そおゆうけえこおにあるやんね。」

まゆゆゆ「つぎけてんな、どいつもこいつも」
 なすなす「おろすってかるくいうけどやで・・・きついいかたになったらごめん。」

つまり、にんげんの・・・じぶんのこどものいのちをうばうってゆう、こどもをつくって、おろすっていうのは、そおゆうせんたくをすることやねんで。そのことを、おふたりにはしつといてほしいです」

ひまうり「あかちゃんのこと、おもいきりだきしめてあげてほしくです」。
 そくすれば、うんでよかったなうって、おもえるとおもいます」

すみっこ「ここにいる、みんなからいえることとしては、そんなとこかな」
 まゆゆゆ「だな」

さつくん「そーゆーことらしーよー」
 ねむたい「わかった。みんな、ありがとう。」

ぐむたい「じゃあ、できるだけうんで、そだてていけるようにやってみる」
 「・・・うつつ・・・うう・・・ありがとう、あきくん・・・」

まゆゆゆ「それでこそ、おとこってんだ」
 なすなす「けつろんとまではいかないけど、いいほうこうにはもっていったみたいやねえ」
 ひまうり「おふたりさん、またきてくださいね」。にこにこ」

すみっこ「しんみりとスマイルからかえっていくふたり」
 さつくん「あー、きょーも、すくえなかったなー」

すみっこ「じょげんはできたし、それでじゅうぶんだとおもう」
 さつくん「そっかー。ならよかったよかったー」

なすなす「できるかぎりのことはできたでえ」
 まゆゆゆ「ああ、さいぜんはつくした」

さつくん「みんなー、さつき、こおってたのたべよー。もうとけてるよー」
 なすなす「ごくごく。ふくざつなきもちやけど、コーシーグーヌー、なんだかいしい」
 まゆゆゆ「がつがつ。まあ、おもってたより、そんなわるくないあじのタコヤキだな」

ひまわり「はえ、さっきまでおってた、こりもどろぞろ」

さつくん「よーするに、ただのみずってゆーんとちゃうんかいー」

すみっこ「そして、べつのひ」

さつくん「あのふたり・・・ちゅうぜつしたんだって」

まゆゆゆ「っざけやがって！くそがっ！」

[care-cafe : smiley-smile : 02]

「おんなのひとへの、きもちからだのくるしさは、はかりしれないことになる」

「ほんとーに、おんなのひとは、こころもからだも、すぐきずつくとおもいます」。

たぶん、うまれてこなかったこどものことで、いっしょくくるしみつづけます」

「つまり、にんげんの・・・じぶんのこどものいのちをうばうってゆー、

こどもをつくって、おろすっていうのは、そおゆうせんたくをすることやねんで」

「どれだけこどもができないようにきをつかって、できるときにはできる。

ぜったいうみたくないなら・・・できるようなことをしないっていうことだけ」

「あかちゃんのこと、おもいきりだきしめてあげてほしくです」。

そうすれば、うんでよかったなうって、おもえとおもいます」

すみっこ 「そして、べつのひ。

さくらのあたまのなかのかがえごとのわりあいは、

ソフトボールごじゅっパーセント、タイヤキごじゅっパーセント」

まゆゆゆ 「しつれいなはなしだけど、たしかにそうだろう」

さつくん 「どひゃひゃひゃひゃ、そんなことないってー」

なずなず 「そおそお、さつくんちゃんにしつれえやとおもうでえ」

さつくん 「せーかくには、タイヤキが、はちじゅーきゅーパーセントだよー」

みんな 「そういうわりあいかっ!？」

すみっこ 「そして、べつのひ。

さくらはおそらく、ソフトボールしながらでもタイヤキくってる」

まゆゆゆ 「しつれいなはなしだけど、たしかにそうだろう」

さつくん 「どひゃひゃひゃひゃ、そんなことないってー」

なずなず 「そおそお、さつくんちゃんにしつれえやとおもうでえ」

さつくん 「せーかくには、タイヤキやきながらだよー」

みんな 「どういうやりかただっ!？」

すみっこ 「そして、べつのひ」

なずなず 「いま、そおおがっこおのなかで、コシアンルーレットっていう、

たのしいことが、はやってるらしいでえ」

まゆゆゆ 「んだそりゃ」

ひまくり 「はえ」

なずなず 「コシアンのはいつてる、おまんじゅうをあてるみたいやわあ」

さつくん 「なるほどー、それなら、あたっても、はずれても、

だれもいやなめにあわずにすむねー」

なずなず 「てんこおせえの、おんなのこが、かんがえたんやってえ」

ひまくり 「じゃー、さっそく、すまいるでもやりましょーか」

さつくん 「どーやるのー？」

ひまくり 「ひまくりのつくった、こーしーまんじゅーをあてるっていう、たのしーことを」

みんな 「それだと、ロシアンのほうとかわんないぞっ!」

ひまくり 「たのしーです」

みんな 「たのしいの、アンタただだよっ!」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまうり「あのー、こーしーぐーぬーって、なんなんでしょうか？」

なずなず「えっ、それもしらずにつくってたんっ?！」

すみっこ「すみっこのまめちしきしゅう。」

コーシーとグーヌーに、さとうをまぜたもの。モリをしないひとがのむんだ。
そうようがっこうの、めいぶつだよ」

ひまうり「はえー、ひまうり、もっといるんなざいりよーを、まぜてつくってました」

みんな「どんなとんでもないざいりようがまざってたか、かんがえたくないっ!」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまうり「できましたー。ひまりすぺしやるにござです」

なずなず「ねえ、ひまありちゃん。さきにきいときたいねんけど、

このおにく、なんのおにくなん？」

ひまうり「しよくどーがえるです」

さつくん「しよくよーがえるか」

まゆゆゆ「いちおう、くえるくいもんだぞ。げてもものとはいえ、もらう。がつがつ。

みんな、しよくようがえるぐらいだと、もうおどろかねえか。がつがつ

ひまうり「しよくどーさんから、もってきました」

なずなず「しよく、ど、お。なん?しよく、よ、お。なんとちゃうん？」

まゆゆゆ「よ、とちがって、ど、ってことか」

さつくん「いやなよかんがー」

ひまうり「しよくどーさんのあたりにいた、かえるさんを、ほかくしてきました」

すみっこ「しよくようとちがういきものを、ざいりようにしてるよ」

まゆゆゆ「おいっ、オレ、もうくっちまったぞっ」

ひまうり「ほかくよーのえさとして、はえーさんをつかいました」

まゆゆゆ「エサのハエごと、オレのはらのなかにかよっ!？」

すみっこ「いまのきせつ、カエルはもういないはず」

ひまうり「はい、まえにとったのを、

ひものにしておいたので、くさってはいないとおもいます」

みんな「むちゃは、ぜひほどほどにねっ!」

まゆゆゆ「すでにくった、オレのみにもなれー!」

さっくん「ねえ、うまれてきたのって・・・意味をなにももたずに？」

「それまでに、きもちをつたえたいです」

[care-cafe : smiley-smile : 03]

すみっこ 「きょうはなんだかいいてんき。でも、ひるから、くもるらしいひのスマイル」

なずなず 「きょうはゆうがたくらいから、あめらしいでえ」

さつくん 「いまのうちに、ソフトボールのれんしゅーしにいこっかなー」

まゆゆゆ 「ゆうがたから、ふるのか」

ひまより 「はれてるの、いまだけですか」。

あ、おきやくさんです。ひま。にここにこ

すみっこ 「はじめそうなじょしが、スマイルにやってきた」

じょし 「ひまです。はるさめのおりより、もらっていいですか？」

ひまより 「わかりました」

まゆゆゆ 「ひまっ。んだ、くいにきただけか？」

さつくん 「ひまー。はるさめおいしーよねー」

ひまより 「できました、はるさめのらゝめんです」

すみっこ 「どうみても、ざるそばにしかみえないものをてわたし、ひまり

なずなず 「ひまありちゃん、ちゃんとレシピみたんかあ」

ひまより 「はえ？」

じょし 「できればカロリーのスくないりょうりがいいです」

すみっこ 「どんまい」

ひまより 「ざるそばさん、とんこつすゝぷをのこすといいですよ。

かろりゝひかえめになります」

まゆゆゆ 「ひまはさっき、どうみてもカツオのほねでだしをとってたぞ」

ひまより 「はえ？」

ざるそば 「あの・・・えと・・・」

・・・どうすればダイエットできますか？」

なずなず 「そやなあ、うんどおと、むだなものをたべへんことが、だいじやるかあ」

まゆゆゆ 「んだ、んなくだらねえことでなやんでやがんのか？」

さつくん 「ふっ、たいじゅーを、きにするよー」

なずなず 「ふっうはなあ」

すみっこ 「わかいじょせい、の、やせがんばう」

ひまより 「はえ？」

まゆゆゆ 「にくのついてるほうが、このみだっておとこはおおいぞ」

さつくん 「まゆゆゆ、だまったらんかいー」

なずなず 「まゆゆゆくんは、わかってへんなあ」

すみっこ 「にぶい」

ひまより 「はえ、ちゃゝしゅゝ、おいしゝです」

なすなす 「ひまありちゃんも、わかってへんなあ」

すみっこ 「じつはけっこう、きょうれつなことってる、ひまり」

ひまより 「はえ〜？」

ざるそば 「たいじゅうのせいで、こころのなかで、おもってるひと・・・、

きもちをいおうって、おもえないんです」

なすなす 「そおなんやあ、それってくるしいやんなあ」

まゆゆゆ 「それは、ふとってるっていうのと、かんけいねえんじゃねえか？」

さつくん 「まゆゆゆはだまっくらんかいー。なんともいわせなさんなー」

すみっこ 「とりあえず、まゆみのくちにガムテープはっつく。ベタベタベタ」

まゆゆゆ 「もがーもがー、もががががっ！」

さつくん 「やっただまっただかー」

ひまより 「はえ〜。すみっこさくん、はなまでふさいでますよ〜」

さつくん 「どっひゃー。ペリペリペリ。はい、はなだけはあけましたー」

すみっこ 「ごめん、やりすぎた」

さつくん 「きょーれつだなー」

なすなす 「いきだけは、できるよおにしとこやあ」

すみっこ 「あばれてるし、いちおう、はしらにしばっつく。ぎゅううううう」

さつくん 「もはや、ごーもんだなー」

ざるそば 「きやすめとか、なぐさめとか、はげましとちがって、

どうすればほんとうにやせるか、しりたいんです」

さつくん 「それなら、なすなすのゆーとーり、うんどーがだいじかなー」

すみっこ 「それと、ごはんをちゃんとたべたほうが、

からだにもいいし、げんきにやせられる」

なすなす 「すみっこちゃんのいうとおりやでえ。ごはんはちゃんとたべるべきやわあ」

すみっこ 「はるさめは、カロリーはひくいしそれもわるくない。

けど、けんこうのためにバランスのいいしよくじをして、

やさいと、にくも、ほかにもちゃんとたべて。

もちろん、パンやごはんなんかの、たんすいかぶつも」

ざるそば 「そんなことして、ふとりませんか？」

すみっこ 「からだをこわすのよりかは、まし。それに、リバウンドも、しにくくなるよ」

なすなす 「そですわあ。すこしのあいだけやせられても、

リバウンドすると、いみがあらへんかなとおもいます」

ざるそば 「あたしのおもってるひとが、もうすぐ、とおくにてんこうするんです。

それまでに、きもちをつたえたいです」

さつくん 「そんなじょーがー」

すみっこ 「くるしいね」

なすなす 「はなしがむずかしくなったわあ」

ひまより 「はえ〜。れんあいえ〜がみたいな、しちゅえ〜しょんです〜」

さつくん 「どーすればいいかなー。うーんー、うーんー、うーんー」

すみっこ 「みじかいあいだに、いきなりやせると、かなりからだにわるいよ」

ざるそば 「からだがわるくなるとしても、はやくやせたいです」

さつくん 「そこまでつよくおもってるのかー」

すみっこ 「こいのやまい」

なすなす 「ううん、おもいつきりなくことも、ばあいによつては、だいじやろかなあ」

ざるそば 「そんなのいやです」

ひまより 「はえ〜、まゆゆゆゆゆさんが、ちあの〜ぜになつてます〜」

なすなす 「まゆゆゆくん、たしか、アレルギーせえびえんやったはずう」

すみっこ 「ごめん。くちにはつてあるもはがすね。ベリベリベリ」

まゆゆゆ 「ぜーぜーぜーぜー。おいこらっ、さんずのかわに、かたあしつっこんだぞっ」

すみっこ 「みんなのいけんがつきたし、きく。まゆみは、どうおもう？」

さつくん 「いちおー、おとごころもきいとくねー」

まゆゆゆ 「いきがでなかつたが、はなしをきいてた。

いっとくが、オレからいわせりや、きもちをつげられて、わるいきはしねえぞ」

さつくん 「へー、いわれたことあるのかー」

まゆゆゆ 「オメー、ひとをなんだとおもってやあんだ」

さつくん 「どんまいー」

まゆゆゆ 「にんげんのはんぶんは、おとこだぞ。それと、いまがすべてとおもうな。

それとな、とくにアンタのみためがわるいようにはみえねえぞ」

なすなす 「いまおもっているひとのほかにも、いいひとは、たくさんいるってことやんねえ」

さつくん 「そーだねー。まゆゆゆのゆーとーりだよー。ざるそばさんのみため、いーよー。

ちゃんとした、びじんにみえるからだつきだよー」

すみっこ 「なぐさめでもなんでもなく、みためはいいほうだとおもうよ」

ざるそば 「こんなにひとをつよくおもったの、はじめてなんです」

なすなす 「それは、まいかい、こういをもつたびにかんじることやとおもうでえ」

さつくん 「そーなのかー」

ひまより 「はえ〜？」

さつくん 「こんかいも、けつろんはだせそーにないねー。

みんな、けんこーをとるか、いまのこいか、どっちをとるべきかなー？」

すみっこ「いまのこいをとるのをすすめるひと、てをあげて」

さっくん「はーい」

すみっこ「はい」

なすなす「はあい」

すみっこ「じゃ、けんこうをとるひと」

まゆゆゆ「はい。とうぜんこっちだ。からだじゅうしばられてて、てをあげられねえが」

ひまうり「はえ。ひまうりはどっちともいえないです」

さっくん「わかれたなー。でもおとこだけ、けんこうをとったなー」

ひまうり「はえ。ざるそばさんがおもいをつけたいなら、

ざるそばさんのなかではこたえはきまってますし、こうかいしないように、やれるだけのことをやって、ゆゝことをゆゝのがいゝんじゃないでしょうか。れんあいのことは、れんあいえゝがみたことくらいしかわからないんですが、あとで、こうかいだけはしたくないです」

まゆゆゆ「そういうかんがえか」

なすなす「そやなあ、やりたいことのこたえはもう、

ざるそばさんのなかで、きまつてるもんなあ」

すみっこ「それもせいしゅん」

ひまうり「ひまうりなら、けっかはどくであれ、ゆゝことをちゃんといゝます」

さっくん「そだねー、ざるそばさんは、どうおもう？」

ざるそば「そうですね。たいけいはどうあれ、

ちゃんときもちはずげたほうがいいとおもいました」

すみっこ「こたえはかわってない。でも、きもちはかたまった」

さっくん「せーしゅんは、いちどきりだよー」

ひまうり「ひまうりとちがつて、せもたかいですし、いまでもとつてもきれいです」

ざるそば「ありがとうございます。じゃあ、ゆうきをだしていただきます。

それと、うんどうをがんばります」

すみっこ「うんどうしてほしい。でも、くれぐれも、むりしないで」

なすなす「ごはん、ちゃんとたべてください」

すみっこ「おちついてスマイルからかえっていく、ざるそば」

さっくん「きょーは、ちよつとはちからになれたかなー」

なすなす「ゆうきをもってもらえただけでも、よかったんやわあ」

ひまうり「はえ」

すみっこ「むりしないことをねがいたい」

さっくん「ざるそばさんはけっきよく、せなかをおしてほしかったただけだったのかもねー」

ひまうり「ひまうりからみて、ざるそばさん、ほそくながいひとにみえてました」

まゆゆゆ「ところで、オレのからだの、ほそくながいなわをほどけっ」

さつくん「どんまいー」

まゆゆゆ「なにが、どんまいーだっ」

ひまうり「はえ、こっちのほそくながいのをわすれてました」。

ぎううう「はえ、ちゃしゅみみたいになって、ほどけないです」

すみっこ「もがいてたせいで、もっと、しぼりがきつくなってる」

さつくん「ちなみに、すみっこは、きんばくどうの、ごだんだよー」

まゆゆゆ「ごだんっておいっ、しゃれになってねえぞっ」。

オレ、ちゃんといえにかえれんのかよっ」

なずなず「なずなずも、もっとやせたいわあ。ダイエットせななあ」

すみっこ「どれだけおもしろいとおりになっただとしても・・・、

みたされるようには、なれずにいるまま」

すみっこ「そして、べつのひ」

さつくん「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてる」

ひまうり「はえ。らぶれたんですか」

さつくん「なになに・・・」。

えんきよりれんあいで、おつきあいすることになりました。ざるそばより」

みんな「よかったあー」

[care-cafe : smiley-smile : 03]

「けんこうのためにバランスのいいしょくじをして、

やさいど、にくも、ほかにもちゃんとたべて。

もちろん、パンやごはんなんかの、たんすいかぶつも」

「オレからいわせりゃ、きもちをつげられて、わるいきはしねえぞ」

「こゝかいしないように、やれるだけのことをやって、

ゆることをゆるのがいゝんじゃないでしょーか」

すみっこ 「そして、べつのひ」

まゆゆ 「あ、むしがとんでる」

すみっこ 「とる。まかせて。えいっえいっ、やあっ」

なずな 「ううん、なかなかとれへんなあ。スマイルは、ごはんたべるとこやのにい」

さつくん 「ねえ、ひまーりー。あのとんでるの、なんだとおもうー？」

ひまーり 「はえー？」

さつくん 「どひゃひゃひゃひゃ。はやさ、はやいとおもうー？」

ひまーり 「はえー？」

まゆゆ 「おいっ、あんま、ひまであそんでやるなっ」

なずな 「むしをやっつけるスプレーでもあればなあ」

すみっこ 「おくのて。シューーーーーー。ぽとっ」

ひまーり 「わー、たいじできました」

まゆゆ 「なんかいま、くちから、きりがでてきたぞ」

すみっこ 「そして、べつのひ」

なずな 「ひまありちゃんのすきなたべものってなんなん？」

ひまーり 「しょーゆとんこつです」

さつくん 「タイヤキもいーけど、しょーゆいりのとんこつラーメン、

おいしーよねー、ごくり」

まゆゆ 「オレも、うまいとおもうぞ」

すみっこ 「えいようたっぷり。かつおいしい」

ひまーり 「いつも、ほねをすりつぶしてごはんにかけてました」

みんな 「そっちを、そういうくいかたしてんのかっ？！」

ひまーり 「ほねごと、ばりばりたべてみました」

みんな 「って、イヌですかいなっ！？」

すみっこ 「そして、べつのひ。すみっこのまめちしきしゅう。

そういうのせいふくがかわいいと、あちこちでひょうばんになってる」

まゆゆ 「おとこのは、ひでえぞ。けんどうぎのぼうが、よっぽどまだ」

さつくん 「じよしの、かわいーよねー。さつくんも、みんなも、きにいつてるよー」

なずな 「このせえふく、まえからきたかったんやわあ」

ひまーり 「ひまーり、ぶちよーさんもでるもー、すてきだとおもいます」

みんな 「って、ひまりって、どういうかんかくしてんだかつ!？」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまゝり 「できましたゝ、ひまりすべしやるさんごゝですゝ」

さつくん 「やたらめったらおおきいカンのいれものに、サバカンでかいてあるよー」

まゆゆゆ 「おもいきり、ふたがあいた、ただのでかいサバのかんづめだけだぞ。」

いや、むしろそのほうがいいか。でかすぎなのがきになっが」

なすなす 「まゆゆゆくん、おためしかかり、よろしく」

まゆゆゆ 「またオレかよつ。でも、くうぞ。がつがつ。うん、ふつうのあじのサバカンだ」
なすなす 「かこうぎようしゃ、そおよおがつこお、かいよおせえぶつけんきゅうぶ、

って、かいてあるでえ」

まゆゆゆ 「どうせ、わけのわかんねえぶかつがつくった、わけわかんねえさかなだろ」

さつくん 「で、ひまゝりー。どーゆーぶかつなのー?」

ひまゝり 「よくしよくのけんきゅうとか、いろいろしてるところらしくですゝ」

まゆゆゆ 「あじは、ふつうだったぞ」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅう。」

クジラとおなじおおきさのサバや、マグロくらいのおおきさのアワビをつくって、
そうようのあちこちでの、アジモリのさかなにしてるっていう、ぶかつだよ」

なすなす 「やっぱり、わけのわからんとこやわあ」

さつくん 「いでんしそーさで、モリのつまみをつくってるんだろーな」

まゆゆゆ 「いでんしそうさって、んなもん、くわすなっ」

なすなす 「ねえ、すみっこちゃん、なんでスマイルでは、アジをのまへんのお?」

すみっこ 「きつさてんだから」

ひまゝり 「はえゝ」

まゆゆゆ 「そういうりゆうか」

さつくん 「モリってー、そーよーの、あちこちでやってるよねー」

まゆゆゆ 「ガキがモリなんか、するもんじゃあねえぞ」

すみっこ 「スマイルでは、アジもモリも、どっちをするのも、すみれがゆるさないよ」

さつくん 「アジでふとっぱらうと、そのひとの、ほんとーのすがたがわかるってゆーよねー」

なすなす 「ひまありちゃんも、アジをやらへんやんねえ」

ひまゝり 「はえゝ、ひまゝり、あじのことはやらないんですがゝ、

みりんをませたのをすこしたべるだけで、ふとっぱらって、あばれだしますゝ」

みんな 「ひまりのほんしょう、じつはキケンだつ!」

まゆゆゆ 「オレたちは、どんなばあいでも・・・不幸から、のがれられないのかもしれない」

「せっかくのだいがくせいかつなのに、うまくいびとができなくて」

[care-cafe : smiley-smile : 04]

すみっこ 「エアコンがこわれてかかりっぱなしの、あついくらいの、スマイルのあさ」
 ひまわり 「できました。こいとまかるにをえた、あたらしうおりよりです」
 なずなず 「コイとマカロニかあ。こんかいのは、おいしそやねえ」

さつくん 「いーかおりー。ぜんぜん、なまぐさくないよー」

まゆゆゆ 「がつがつ。きょうのはうまいぞ」

さつくん 「ぱくぱく。ほんとだおいしー」

すみっこ 「すみれがつくったよ」

さつくん 「やっぱりそーかー」

ひまわり 「はえ、きたいをうらぎりました」

さつくん 「ひまーりー。そういうときはなんでやねーんっていわないとー」

ひまわり 「はえ？そーなんですか」。

あ、れしぴをかんがえたの、ひまわりです。

こいのまかるにつてゆ、れんあいえがをみてかんがえました」

まゆゆゆ 「めちやめちやなところから、かんがえをひっぱってきたみたいだぞ」

さつくん 「ひまーりつてば、そもそもコイのいみをまちがってるなー」

まゆゆゆ 「すみのりより、やっぱうまいぞ」

ひまわり 「なんでやねーん」

さつくん 「ひまーりー。ゆータイミングまちがってるよー」

ひまわり 「はえ？」

あ、おきやくさんみたいです。ひま。にこにこ」

だんし 「ひまです」

すみっこ 「すなおそうな、がたいのいい、めがねだんしがやってきた」

ひまわり 「ごりべんさん、あついですし、こしぐぬをどぞ」

ゴリベン 「あ、ありがとう」

さつくん 「ひまー。だいがくかてーのひとー？」

ゴリベン 「はい、そうです」

まゆゆゆ 「ひま。このあついのに、コーシーグーヌーから、ゆげがたってっぞ」

ゴリベン 「いただきます。ごくごく・・・おいしいです」

さつくん 「すごい、ホットをいっきのみだー」

すみっこ 「ひま。はずれだけど、あるいみ、あたり」

なずなず 「ひまあ。がつちりしてて、おとこらしいのに、おちついてますやんねえ」

ゴリベン 「えっ、そうでもないです」

さつくん 「だいがくかてーかー、おとなだー」

まゆゆゆ 「だいがくかていか、つよそうだな。かくとうぎやってんのか？」

なすなす 「まゆゆゆくん、ことばづかいがなってへんでえ」

ゴリベン 「はい、やっています。いちおう、じゅうどうさんなんです」

さつくん 「つよー。つよすぎー」

ゴリベン 「てれます」

すみっこ 「まゆゆゆと、けんどうたい、じゅうどーの、せーきのいっせんをしてほしー」

なすなす 「ふふふふつ、どっちがかつんやるお」

まゆゆゆ 「つせーな。で、オレらみてえなとしたあいてに、なんかはなしか？」

ゴリベン 「せっかくのだいがくせいかつなのに、うまくこいびとができなくて」

さつくん 「スマイルには、ほんに、こいのなやみがおーくまいこみますニャー」

まゆゆゆ 「ちやかすな」

さつくん 「もてそーに、みえるよー」

なすなす 「ゴリベンさん、かつこええですよお」

ひまうり 「はえー、ごりべんさんの、

かたおもいしてるひとつて、どんなひとなんですか？」

ゴリベン 「かたおもいしてるひと・・・とくにいてないです」

さつくん 「かくっ」

なすなす 「あはは・・・」

まゆゆゆ 「おいおいっ」

なすなす 「どおも、そこがよくないとこみたいやでえ」

さつくん 「たべたいりょーりはとくはないけど、おなかだけはすいてるってとこかなー。

がつがつしてて、なんでもいーからたべたいっておもってるんだよー」

まゆゆゆ 「そこをおんなに、みすかされてんだ」

さつくん 「アナゴどんぶりたべるときの、まゆゆゆみたいにー」

まゆゆゆ 「おいっ」

ひまうり 「はえー。あなごどん、おいしくですー」

なすなす 「なんでもいいとおもわれるのは、じよしとしては、ちょっとなあ」

まゆゆゆ 「だな。アンタがおなじたちばだったらいやだろ。

だれでもいいから、とにかくおとこがほしいって、おんなにおもわれて、

そのうえで、せまってこられるなんてよ」

ゴリベン 「そうですね、そうおもいます」

すみっこ 「かたおもいからかまわないから、いいあいてをみつけて。

そこからなかよくなっていくのをすすめるよ」

さつくん 「はやくも、これでかいけつしたなー。よかったよかったー」

なすなす 「ゴリベンさんの、このみのひとつて、どんなかんじのひとですやるか？」

ゴリベン 「そうだな・・・ほんをよむのがすきな、おとなしいひとですかね。

それで、しんのつよいひとで、じゅんすいなひと。

それでいて、かみはくるで、ながいひとがいいです。

ふくは、しろのみずたまのワンピースと、むぎわらぼうしにあうひとかな。

あと、めがねがあうひとで、せいそなかんじのひとがすきです」

まゆゆゆ 「んなおんな、いるかつ」

さつくん 「どーかんがえても、ちゅーもん、おーいよー」

ひまうり 「はえー、ずーっとむかしの、れんあいえーがの、ひろいのひとみたいです」

すみっこ 「ゴリベンは、こいにこいしてる」

なすなす 「いるはずもないげんそおを、おいかけてるんやわあ」

ひまうり 「だれでもおげー、というのとちがって、だれにもきょーみをもてないんですね」

さつくん 「おんなのひとに、きょーみはあるんだねー。ただ、りそーがなー」

すみっこ 「かたおもいにならない、いちばんのもんだいは、そういうとこだとおもうよ」

ゴリベン 「そんなすてきなひと、いませんかね？」

ひまうり 「むかしの、れんあいえーがのなかななら、いますよー」

さつくん 「くーそーのさんぶつだよー」

まゆゆゆ 「けんどうのけいこにいつてくる。あきれた」

すみっこ 「もうちょっと、いてあげて」

まゆゆゆ 「つたりいな。なら、おなじのしゅみのあいてをすすめっぞ」

なすなす 「ゴリベンのしゅみってなんですやるかあ？

しゅみのおなじひとをさがすといいですよお」

ゴリベン 「どくしょです」

さつくん 「やっぱ、めがねだんしだー」

まゆゆゆ 「んで、どくしょって、どんなほんをよんでんだ？」

ゴリベン 「すうがくとか、ぶつりとか、りけいのほんをなんでもよみます。

てつかくもすきです」

さつくん 「うっ、あたまよさそー」

なすなす 「だいがくのがくぶは、なにがくぶですか？」

ゴリベン 「いちおう、ほうがくぶです」

まゆゆゆ 「そうようだいがくの、ほうがくぶか。アンタ、あきらかにオレよりあたまいぞ」

なすなす 「じゅうどうをやってて、りけいで、どくしょかで、ほうがくぶせいで、

そのうえ、そのためなんて、ぜったいもてるとおもいますわあ」

さつくん 「ゴリベンさん、つよそーで、それにおとこまえだよー」

すみっこ 「ちょっときよわそうでおとなしそうだけど、

つよそうで、みためは、かなりいいよ」

まゆゆゆ「アンタ、おとこらしいビシっとした、そういうがいけんしてっぞ」

ひまうり「はえ、れんあいしよせつは、おすきですか？」

ゴリベン「そういうのは、すきというか、よんだことないです」

すみっこ「ほんのせかいにいるようなひとを、おいかけてるわけとはちがう」

さっくん「れんあいしよせつにでてるようなひとを、とはちがうのか」

まゆゆゆ「じっさいには、そのてのほんにでてるおんなをおいかけてるのと、

おなじことだっ」

さっくん「アイドルは、すきなのー？どー？」

ゴリベン「けっこう、すきなほうです。」

ねここっこシスターズの、ももそのななかのファンです」

まゆゆゆ「アンタ、んなもんきょうみあんのか。ったく」

さっくん「あーゆーのが、このみなんだー」

すみっこ「すみれも、アイドルって、けっこうすき」

さっくん「どひゃー、すみっこって、アイドルのファンなんだー。いがいすぎー」

すみっこ「うん」

なすなす「アイドルのグッズなんか、かはるんですやるかあ？」

ゴリベン「はい、けっこう、あつめてます。ファンクラブにもさんかしてます」

まゆゆゆ「だいがくかていにかようとして、んなことしてやがんのか」

さっくん「さっくん、おとこまえのスポーツせんしゅの、ファンになりやすいよー。

すきなせんしゅのモデルの、かっこいいグローブやシューズがあると、

すきなせんしゅみたいになれるかもっておもって、ほしくなるかなー」

なすなす「そおいえばむかし、けっこおいろいろ、しゃんしゅうなんかをあつめてたわあ」

ひまうり「あまいますくの、え、がはいゆーさんのでるえ、がは、

いつのじだいでも、だいたい、め、さくだとおもいます」

まゆゆゆ「なにいてやあんだか、おんなたちの、さっぱりわからんせかいだ」

なすなす「アイドルみたいな、じっさいにあんまりいなさそうなひとをもとめるより、

そおよおだいがくには、おんなのひとってすごくおおいでずしい、

そおゆうとこで、いろいろと、このみのひとをさがしてみると、

いいあいてがみつかるとおもいますよお。

それと、おもいもしなかったタイプを、すきになることって、おおいです」

まゆゆゆ「とにかく、ほんをよむんをやめる。んで、もっとひとのであいをだいじにしろ。

それと、アイドルの、ももぞなんとかのグッズもぜんぶする。

どうも、アンタはほんのよみすぎだ。」

さっくん「じゅーどーぶの、おんなをねらうといーよー」

まゆゆゆ「それもひとつの、かもな。」

そういう、たいいくかいけいの、あせくさいおんなっていう、
げんじつじみたおんなに、あんがい、きがいくかもしれねえ」

さっくん「あせくさい、けんどーぶのおんなは、ねらっちゃだめだよー」

まゆゆゆ「んだところ」

ひまーり「ひまーりからみて、まゆゆゆゆゆさんのゆーとーりだとおもいます。」

まゆゆゆゆさんのゆーとーり、ほんばっかりよnderのは、
あんまししないほうがいーかなーっておもいます。」

れんあいえーがみたいなせかいもたのしーですが、げんじつにいるひとたちも、
みなさん、すてきだなくって、ひまーりはおもうんです。」

なすなす「なすなすからは、もうとくにいうことはないやるかなあ。」

ゴリベンさんは、あたまがよくて、うんどうもとくいですし、
みためもさっぱりしてますし、りそおはちよつとたかいみたいですけど、

りそおのことさえかいけつすれば、それでもんだいはなくなるとおもいますわあ」
すみっこ「げんじつをみたほうがいいよ。それと、いいあいてはぜったいみつかる。」

にんげんて、いいあいてがみつかるようにできてるいきもの。
さいごにいうと、あたまのいい、うんどうもできるめがねだんし、もてるよ」

ゴリベン「わかりました。みんな、ありがとう。もうちよつとげんじつをみます」

ひまーり「ごりべんさん、またきてくださいね。」にこにこ」

すみっこ「しっかりとしたひょうじようで、スマイルからかえっていく、ゴリベン」

さっくん「うーん、きょーは、ちからになれたなー」

なすなす「まゆゆゆくんも、おんなのこに、きょおみをもちいやあ」

まゆゆゆ「つたるい」

ひまーり「はえ、もてるのにもつたいないです」

まゆゆゆ「つだらねえはなしがおわったことだし、けいこにいつてくる」

さっくん「けーこさんとこにいくのー？」

まゆゆゆ「てんねんかオメーは。じゃあな」

すみっこ「スマイルからでいこうとする、まゆゆゆ」

さっくん「まゆゆゆさんて、スマイルにくるときに、よく、けんどーぎすがたですニャー」

ひまーり「はえ、まゆゆゆさん、きょーも、けんどーぎすがたです」

まゆゆゆ「つせー、きがえるの、たりーんだ」

なすなす「そおよおにはホンマに、こせえてきなかっこのだんしが、おおいやんなあ」

ひまーり「はえ」

すみっこ「いつもまわしがたの、すもうぶいんもいる」

ひまわり「まゆゆゆゆゆさんも、すもゝぶにはいると、

すまいるにくるとき、まわしがたになるんですかねゝ」

さつくん「ニヤハハハハハハ、まゆゆゆさんの、まわしがたですかニヤー」

まゆゆゆ「って、おいこらっ。へんなこと、そうぞうすんなっ」

すみっこ「そして、べつのひ」

さつくん「あー、おとこのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてるー」

ひまわり「はえゝ。らぶれたゝですかゝ」

さつくん「なになに・・・」

おんなのひとに、きもちをいって、うまくいかなかったのですが、
いっぽまえにすめて、よかったとおもいました。

このちょうしで、いっぽずつすすんでいきたいです。ゴリベンより。

きれーで、きっちりしたじだなー。せーかくがあらわれてるよー。

でも・・・うーんー、うまくいかなかったのかー、うーんー」

なすなす「でも、ゴリベンさんかいてはるとおり、まえにすめたんやわあ」

ひまわり「はえゝ、よかったゝって、ひまわりはおもいますゝ」

すみっこ「すみこのまめちしきしゅう」。

ゴリベンは、アイドルの टीーシャツすがたで、こくった」

みんな「って、そうか、あのファッションセンスがっ！」

[care-cafe : smiley-smile : 04]

「とにかく、ほんをよむんをやめる。んで、もっとひとのであいをだいじにしろ。

それと、アイドルの、ももぞなんとかのグッズもぜんぶすてる。

どうも、アンタはほんのよみすぎだ」

「げんじつをみたほうがいいよ。あと、いいあいてはぜったいみつかる。

にんげんで、いいあいてがみつかるようにできてるいきもの」

「れんあいえゝがみたいなせかいもたのしゝですが、げんじつにいるひとたちも、

みなさん、すてきだなゝって、ひまわりはおもうんですゝ」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまうり「あのー、まゆゆゆゆさんて、めがねをとると、どんなかんじなんですかー？」

さつくん「さいきんはめがねとったのみてないかなー」

けど、はずすとけっこう、びけーだよー」

すみっこ「すみっこのまめちしきしゅうにも、びけいってかいてある」

ひまうり「すみっこさん、なんでそんなことまでかいてあるんですかー？」

すみっこ「まめちしきのは、まかせて」

さつくん「うーん、そこまでくわしいと、なんかこわいなー」

すみっこ「そして、べつのひ」

さつくん「うーん、まるいてごろなおおきさのものをみると、

まゆゆゆの、そのみけんにストライクさせたくなるなー」

まゆゆゆ「おいっ、そんなこといいながら、てつのたまをみるなっ」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまうり「いででででででででででで、うでがー」

さつくん「どしたのー？まゆゆゆに、うでをぼくとーで、きられたのー？」

まゆゆゆ「おいっ」

ひまうり「いえー、さいきん、ひだりうでのちょうしがわるくてー」

なずなず「だいじょおぶなん？」

まゆゆゆ「リハビリうけてんのか？」

ひまうり「はいー、まいにち、にじかんくらい、りはびりしてますー」

さつくん「しんどそー」

まゆゆゆ「けっこう、やってんだ」

なずなず「リハビリって、いたいん？」

ひまうり「はいー、いたいですー」

みんな「・・・」

さっくん「いつなおるんだろっ・・・傷

「いんぐー、おんなのひんぐーとすることになったんだ」

[care-cafe : smiley-smile : 05]

すみっこ 「てんきがよい、きぶんのよくなりそうなの、スマイル」

さっくん 「きょーも、いーてんきだなー」

まゆゆゆ 「そうおもうなら、ソフトボールのれんしゅうしてこい」

さっくん 「タイヤキたべてからいくよー」

ひまゝり 「はえゝ。タイヤキは、おひさまのひかりで、

にっこゝしよゝどくするといいですよゝ」

まゆゆゆ 「っておい、しよゝみきげん、いつだ？」

ひまゝり 「さんねんさんかげつまえですゝ」

さっくん 「どっひやーーーーー、すでになんこか、たべちったよー」

ひまゝり 「ねだんが、とつてもやすかったですゝ」

まゆゆゆ 「やすかったから、しいれたってことか」

すみっこ 「すみれにないしよでしいれると、こうなる」

ひまゝり 「はえゝ？あゝ、いちげんさんみたいですゝ。ひまゝ。にこにこゝ」

だんし 「ひまですっ」

なずなず 「ひまあ。からだおおきいですねえ。なにかスポーツをしてはるんですかあ？」

だんし 「ラグビーやってる」

さっくん 「ひまー。ラグビーかー。かっこいいーなー」

ひまゝり 「まっちょさん、とりあえず、みそかつでもどゝぞゝ」

まゆゆゆ 「おい、それあ、おれがさっきちゅうもんしたぶんだぞ」

なずなず 「マツチヨさん、なにかそうだんでもあるんですやるかあ？」

マツチヨ 「こんど、おんなのひととデートすることになったんだ。

で、どこいけいいかと、デートのあいだに、どうすればいいかわからなくて、

それで、そこらへんをききに、そうだんしにきた」

さっくん 「スマイルには、こいのなやみが、おーくよせられますニヤー」

ひまゝり 「はえゝ、はつでゝとですかゝ」

さっくん 「まゆゆゆは、どっかいった？」

まゆゆゆ 「おれあ、おんなともだちといったの、じんじゃだったぞ」

さっくん 「じんじゃって、なんでー？」

まゆゆゆ 「タダだから」

さっくん 「ぷーーーーーっ！どっひやひやひやひや」

まゆゆゆ 「おいこら、なにわあってやがんだ」

なずなず 「ふつう、じんじゃにはいかへんでえ。はつもうでならべつやけどお」

まゆゆゆ 「どこいこうと、おれのかってだ」

さっくん 「ひるごはんは、なにをたべにいったのー？」

まゆゆゆ 「きたないラーメンやに、くいにいった」

ひまうり 「はえ、なんで、きたないとこなんですか？」

まゆゆゆ 「きたないとこのほうがうまいっていうだろ」

さつくん 「ぷぷぷぷぷぷー！っ！どっひゃっひゃっひゃっひゃっ。

ふつう、はつデートで、きたないラーメンやさんにいかないよ」

まゆゆゆ 「いちいち、うっせーぞこら」

なすなす 「あいてのおんなのこは、どおおもったん？」

まゆゆゆ 「とちゅうで、おこってかえった」

さつくん 「どひゃー！おなががよじれるー！おこるよそらー！」

なすなす 「はつデートで、そらないやるお」

まゆゆゆ 「なんでおこったか、いまでもわからねえ」

すみっこ 「じぶんがおんなともだちと、ともだちどうしとしてとちがい、

デートとしていったことにきづいていない、まゆみ」

ひまうり 「ひまうり、きたないあなばらうめん、すきです」

まゆゆゆ 「ひまのやつ、よくわかってやがる。おれと、きがあうぞ」

なすなす 「で、マツチヨさん、さんこうになりました・・・やるか？」

マツチヨ 「うん、なんとなく」

さつくん 「だめだめだめ！ぜったいさんこうにしちゃだめ！どひゃひゃひゃ」

ひまうり 「なすなすなすさんの、はつデートはどだったんですか？」

なすなす 「ちよっとおいとこにある、テーマパークやったで。

クルマでおくりむかえてもらったわあ。

で、ひつよおなものはぜんぶ、よおいしてもらったでえ」

すみっこ 「スマート。おんなごころがわかってる」

さつくん 「クルマか。おとなだな。おひめさまみたいだな」

なすなす 「マツチヨさんも、ゆうえんちにしたらどうですやるかあ？」

さつくん 「ゆーえんちなら、はずさないですむよ」

すみっこ 「いま、わだいなってるのりものなんかのりにいこう、ってさそうと、

あいても、きょうみをもって、ゆうえんちにくきになってくれるとおもう。

そういうんでも、ゆうえんちはおすすめだよ」

マツチヨ 「わかった、そうする」

さつくん 「ひるは、きたないぎゅーどんやをさがすといーよ」

まゆゆゆ 「おいこらっ」

さつくん 「どひゃひゃひゃひゃ」

ひまうり 「まゆゆゆゆゆさんと、にどづけできる、

きたない、くしかつやさんにいきたいです」

まゆゆ 「おう、ひまはおれのなかまだ。さすが、わかってやがる」

なずな 「もうちょっとふんいきのいいところで、パスタなんかのイタリアンの、
がくせえさんでも、きがるにはいれるところがおすすめやでえ」

さつくん 「ハンバーガーでもいいーよ。ファーストフードとちがつてー、
ちよっとおしゃれで、ちよっとおたかめな、おいしーとこー」

すみっこ 「ゆうえんちのなかで、なにかえらんでたべるのもわるくないかな。

ゆうえんちでたべるばあいには、なにをたべるかは、マッチョさんがきめて」

ひまうり 「きたない、いーといんの、ぴざやさん、いきたいです」

まゆゆ 「そこは、べつにきたなくていいとおもうぞ」

なずな 「マッチョさんは、たいいくかいけいで、ドンとかまえるほうやから、
デートちゆうにグイグイひっぱってっていくくらいやと、

あいてのひとからの、ひよおかがあがりますよお。

おんなのひとのきもちをわかつてはるひとに、ひっぱられるのって、
おんなのひとは、うれしいとおもうわあ」

すみっこ 「おとこのひとは、デートしてるあいだは、

まよわないでどんどん、そのばできめてくとかっこいいよ。

おどおど、まごまごはぜったいダメ。なにがあっても、まよわないこと。
したしらべを、あらかじめちゃんとしておくのも、わすれないで」

さつくん 「ひっぱってくおとこかー。まゆゆには、ふりまわされるのやだなー」

まゆゆ 「んだところっ」

さつくん 「どひやひや、じんじゃまでひっぱっていかれることになるよー」

まゆゆ 「おいっ」

なずな 「おれになんでもまかせてっていうくらいで、ひっぱってってくれる、
そおゆうおとこのひとって、かっこええですよお。

マッチョさんなら、そおゆうの、むいてるとおもいます」

マッチョ 「わかったそうする。みんなありがとう」

ひまうり 「まっちゃよさうん、またきてくださいね。にこにこ」

すみっこ 「じしんをもってスマイルからかえっていく、マッチョ」

さつくん 「きょーは、ちからになれたなー」

まゆゆ 「さんざんバカにされたが、やくにはたてたぞ」

さつくん 「はんめんきょーしとしてだよー」

まゆゆ 「んだとおいつ」

なずな 「さつくんちゃん、はっデートにいくとすればどこにいきたいん？」

さっくん「タイヤキのテーマパークって、

そこでおひるはタイヤキのフルコースをたべたいよー」

みんな「けっきょくそこらかよっ!」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー、おとこのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてるー」

ひまわり「はえー。らぶれたーですか」

さっくん「なにになに・・・」

きれいなおみせをまわって、おんなのこと、うまくいきました。マッチョより
なずなず「よかったわあ、ちからになれたんやわあ」

ひまわり「あつあつのできたてです」

さっくん「ついしん、きたないじんじやに、いくのはいやです。さっくんより」

まゆゆゆ「って、オメーひとことおおいぞっ!」

[care-cafe : smiley-smile : 05]

「デートちゅうにグイグイひっばってっくくくらやと、

あいてのひとからの、ひょおかがあがりますよお。

おんなのひとのきもちをわかつてはるひとに、ひっぱられるのって、

おんなのひとは、うれしいとおもうわあ」

「おとこのひとは、デートしてるあいだは、

まよわないでどんどん、そのばできめてくとかっこいいよ。

おどおど、まごまごはぜったいダメ。なにがあっても、まよわないこと。

したしらべを、あらかじめちゃんとしておくのも、わすれないで」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「あのー、まゆゆゆゆゆゆさーん」

まゆゆゆ「あきらかに、ゆがおおいぞ」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「あのー、ゆゆゆゆゆさーん」

まゆゆゆ「こんどは、まがぬけてるぞ」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「あのー、たいやきだいすきさーん」

さっくん「てーちやくしそーだなー、そのあだなー」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「あのー、なすなすなすなすさーん」

なすなす「あきらかに、くりかえしがおおいでえ」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「あのー、ななななすさーん」

なすなす「ひまありちゃん、そのよびかた、わざとかいなあ？」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「きょーは、ひまーりがくるのがおそいなー」

なすなす「もお、ゆうがたやでえ。しんぱいやわあ」

ひまわり「ひまー」

まゆゆゆ「おっ、きたか。ひまっ。どうした？おそかったぞ」

ひまわり「はいー、みちにまよってましたー」

さっくん「ちなみに、なんじかんくらいまよってたのー？だいたい、おちはみえてるけどー」

ひまわり「はいー、がっこうのいりぐちから、すまいるまでー、ごじかんですー」

みんな「やっぱりっー！」

ひまわり「おうちから、がっこうにつくまでに、ななじかんまよいました」

みんな「えっ、そこくらいからっ!？」

ひまわり「あしが、がくがくです」

みんな「うて、いつ、いえをでたんだっ!？」

すみっこ「そして、べつのひ。すみっこのまめちしきしゅう。」

「そうようではないま、だてメガネと、ツインターールが、はやってる」

ひまわり「はえ。まゆゆさんのめがねって、だてをかけてらっしゃるんですか？」

まゆゆゆ「レンズいりの、ほんものだぞ」

さっくん「スマイルのじよしたち、みんな、めがねかけてないよね〜」

「でも、かみがたは、みんなツインテールにちかいでえ」

さっくん「さっくんの、あたまのうしろのしたのほうについてる、おだんごみたいなかみ、ふたつでまるくて、みぎとひだりについてるよねー。これはねー、ぶかつのとき、ぼーしをかぶってもだいじょぶなよーに、こーやって、くくつてゐるんだー」

まゆゆゆ 「さくのはあいはい、いろいろよりソフトボールってことか」

さっくん「ほっとけーい！どひゃひゃひゃ」

「なずなずは、よこでちよつとだけ、ふたつたばねてまとめてるだけやわあ」

ひまわり「ぱつとみのとときと、うしろからみると、すとれうとへあみたいで、すてきです」

「なぐくてきれいなところに、あこがれをかんじるよ」

さっくん「ひまーりの、あたまのうえのほーでくくってる、おーどーのツインテールだねー」

ひまわり「はい。おどろの、てっぱんの、べたな、ついんてるです」

さっくん「すみっこの、てっぺんあたりの、ちょっとだけはねてるみたいなのも、かわいいー」

すみっこ「えへ。みんな、いまはやりのツインテールに、いろいろくふうしてるんだね」

まゆゆゆ「なんでオメーら、くくるところにリボンをつけてやがんだ？」

さっくん「えーしらないのー？そーゆーリボンをつかうのが、いまのはやりなんだよー」

「うん、もうちょっと、じよしを、よくみてほしいわあ」

まゆゆゆ「しらねえぞ、んなこと」

ひまゝり「まゆゆゆさんも、ついんてゝるにしましよゝか？」

さっくん「そーだ、そーだ、そーしちゃおーっ」

「まゆゆくんのサラサラシヨオトに、ウィッグつけてえ」

さっくん「そのあと、がっこーではやりのリボンの、とくだいのピンクいるのでくくって」

まゆゆゆ「ぎゃー——って、おいこら、またんか————いつ」

[illegible]

すみっこ あいつていうのは・・・心からしんじられること
「なすなす」なら、なすなすがもってるのは・・・變とちゃうんやわ

「せいかくど、じんせいなんてかえられんのお？」

[care-cafe : smiley-smile : 06]

すみっこ 「そうようがっこうのちかくで、じしんがおきたひのスマイル」
 なずなず 「ブーーーーーッ！げほっげほっ。ごはっごはっ」

まゆゆゆ 「んだ？ひまのつくった、あたりか？」

なずなず 「みたいやわ。こしよおと、わさびと、とおがらしをまぜたみたいなあじやった」
 さっくん 「どひやひやひやひや」

スマイルのコーシーグーヌーは、どくみtainなもんですニャー」

すみっこ 「ロシアンルーレットともいう」

なずなず 「でも、ふしぎとのみたくなるわあ」

まゆゆゆ 「ふしぎなもんだ」

ひまゝり 「はえゝ？あ、おきやくさんですゝ」

ひまゝり、ちやらちやらしたおんなのひとゝ。にこにこゝ」

すみっこ 「スマイルに、ちやらちやらしたおんなのひとがやってきた」

じよし 「ひま。あたし、トガラシをすうのがやめられないんだよねえ。どうしよつかあ？」

まゆゆゆ 「こんどのいちげんはどんなやつかとおもえば・・・」

バカかテメーは。んなもん、こんじようでやめる」

ひまゝり 「とがらしさんゝ、ひまゝりもからいのはすきですゝ、よくつかいますゝ」

さっくん 「そこのかたゝ。トガラシとべつのトガラシをまちがえてますよゝ」

ひまゝり 「がんがんつかいますゝ」

まゆゆゆ 「このまえケチャップのかわりに、ちようみりようとして、

トガラシだけかけられてつくられてるオムライスをくわされたぞ」

すみっこ 「ひまりはトガラシつかいすぎ」

で、がっこうでトガラシなんかすってると、

ちきゅうをいっしゅうさせられそうなくらい、

せいとかいちように、ぶんなぐられてぶつとぶことになる」

トガラシ 「どうすればやめられるかなあ？」

まゆゆゆ 「びよういんいつてきて、ちりよううけてこい」

それがいやなら、いっしょう、こどもうまずにいる」

トガラシ 「びよういんかあ。ひようかかるとんじやない？」

なずなず 「なずなずも、むかし、トガラシすってたでえ」

まゆゆゆ 「おい、それほんとはなしか？」

さっくん 「いがいすぎゝ」

なずなず 「ほんまやで。へビートガラサーやった」

さっくん 「へビートガラサーっていうの、

さいきょーのぶきのなまえみたいだねゝ。かっこいいゝ」

ひまゝり「かつこいゝですゝ」

トガラシ「どうやってやめたわけ？」

なずなず「ふくししせつに、にゆうしよしてたときに、やめられた。

あそこ、すえへんから」

さつくん「えー」

まゆゆゆ「マジか」

なずなず「マジやで」

さつくん「なずなずに、そんなかこがー」。

なずなずは、とびきゅーで、だいがくいんせーになるくらいだから、
ちょーゆーとーせーなんだとおもってたよー」

ひまゝり「はえゝ？」

さつくん「んー。でも、ふくししせつにいくわけにもいかないかー」

トガラシ「ふくししせつかあ、いやだなあ」

なずなず「やめるには、せいかく・・・こんぼんてきなかんがえかたを

かえるのがいちばんかって、なずなずはおもうで。

なんでかっていうと、まゆゆゆくんのゆうとおり、

やめるには、こんじょおがだいじやから。

そのためには、トガラシさんは、やんちゃなおんなのひとみたいやし、

かんがえかたをかえるために、やんちゃさをかえるといいかな。

それと、やめるためには、トガラシをキッパリやめて、じぶんと、

じぶんのじんせいをかえるんやでっていうくらいのもちで、いどむとええで。

そおすること、やめようというきもちを、つよくもてるんやとおもいます。

そおゆうきになることができないなら、

なずなずのいうようなやめかたは、むりやとおもうかなあ」

まゆゆゆ「だとよ」

トガラシ「せいかくと、じんせいなんてかえられんのお？」

なずなず「じぶんでいうのもなんやけど、なずなずは、かえられたで」

まゆゆゆ「デメーはどうも、トガラシをやめるのに、ほんきでとりくむきがねえらしい」

トガラシ「そう？」

まゆゆゆ「わかんねえやつだなっ。そんないわけばっかしてつと、

いつまでたつてもじぶんをかえることができねえんだっ！

いいわけばっかのやるきのねえヤツに、

まともにあいてするヤツなんていねえんだぞっ！

んなこともわかんねえのかバカおんながっ！」

トガラシ「ああ？ええ？そう？あんま、おこなよ？」

まゆゆゆ「んだデメー。ちったあ、はんせいくらいしろっ！」

さつくん「まゆゆゆー、どんまーい。トガラシさんもー」

なすなす「おちつきい、ふたりとも」

すみっこ「トガラシさんは、やるきもないし、

くろうせずにすむ、らかなやめかたをさがそうとしてる。

そんなかんがえだと、まゆみのいうとおりだよ。かわるのはむり」

トガラシ「あーはいはいっ！もういいっ。

まじめちゃんたち、トガラシすわずに、げんきでいてねっ！」

すみっこ「あらっぽくスマイルをでいく、トガラシ」

ひまより「とがらしさん、またきてくださいね。にこにこ」

まゆゆゆ「くそが。つぎたおんなだった。にどとくんな」

さつくん「ああゆーひとつ、ずっとあのままなんだろーなー。

うーん、きょーもけつきよく、たすけられなかったなー」

なすなす「もお、どうしよおもあらへんのやわ。

・・・すくうがわにとっても、すくわれるがわにとっても」

すみっこ「そして、べつのひ」

さつくん「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてる」

ひまより「はえ。らぶれたくですか」

さつくん「なにになに・・・。

やっぱりやめられない。どうしていいかわからない。たすけて。トガラシより」

みんな「・・・・・・・・」

[care-cafe : smiley-smile : 06]

「じぶん、じぶんのじんせいをかえるんやでっていつくらいのもちで、いどむとええで」

「そんないいわけばっかしてっ、

いつまでたってもじぶんをかえることができねえんだっ！」

すみっこ「そして、べつのひ」

じょし「ひまりちゃん、いっしょにしゃしんとって」

ひまゝり「はい。にここにこ」

だし「ひまりちゃん、サインかいてよ」

ひまゝり「はい。にここにこ」

さつくん「ひまゝり、もてるな」

なずなず「なずなずだけのものにしたいいいいい」

すみっこ「そして、べつのひ」

なずなず「ひまありちゃん、このぼおしを、かぶってほしいわあ」

ひまゝり「はい」

なずなず「つぎはあ、このふく、きてえ」

ひまゝり「はい」

なずなず「にあってるうううう、かわいいいいい。つぎはかみがたをかえようねええ」

さつくん「ひまゝり、おもちゃにされてる」。

ひまゝり「ひまゝりちゃん、いやなときははいやっていおーね」

ひまゝり「はえ。いやとちがいますよ」

すみっこ「ところがひろい」

さつくん「まゆゆゆに、おんなのこのふくをきせかえをすると、

あんがい、そのきになってもらえるよ」

まゆゆゆ「って、おいっ」

すみっこ「そして、べつのひ」

まゆゆゆ「おい、なず。すうがくの、このもんだいをおしえてほしい」

なずなず「このもんだいはやねえ、なんたらかんたら」

まゆゆゆ「そっか、ありがと。で、このもんだいのこうしきが・・・どうたらこうたら」

なずなず「こうゆうもんだいの、こうしきはやね・・・ふんだらはんだら」

ひまゝり「はえ、なずなずなずさん、あたまいです」

なずなず「そんなことあらへんでえ」

まゆゆゆ「あたまがよくないなんて、とびきゅうのだいがくいんせいがいっても、

あんま、しんじられねえこったぞ。

だいがくいんに、にゅうがくすつために、そうとう、がんばったんだろ」

なすなす 「そんなに、がんばってへんでえ」

すみっこ 「ほんとは、とてもがんばったのに、ひかえめな、なすな」

さつくん 「すーがくかー。そのことはをきくだけで、ずつーがー」

まゆゆゆ 「なずにおしえてもらえ」

なすなす 「ひまありちゃんも、どんどんきいてなあ」

ひまより 「はえー、じゃー、くくの、にのだんをおしえてくださいー」

みんな 「えっ、そこらへんからっ!？」

すみっこ 「そして、べつのひ」

まゆゆゆ 「オメーら、ちゃんとべんきょうしてやがんのか？」

さつくん 「うーーーんーー、べんきょーかー。さつくん、おちこぼれだからー」

まゆゆゆ 「んなこときめつけんの、まだまだはええだろ。ぐだってねえで、がんばれ」

さつくん 「じゃーがんばるー」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅう。」

そうようのせいとたち、じつはみんな、けっこうべんきょうしてる」

ひまより 「はえー」

なすなす 「そやねえ」

さつくん 「ねーすみっこー。なんでそーよーって、こんなへんながつこーなのー？」

すみっこ 「せいとかいちようが、かわってから、おかしくなった。そこがかんけいしてる」

まゆゆゆ 「せいとかいちようか。アイツのことだな。アイツ、なにかんがえてやがんだ？」

すみっこ 「なにをかんがえてるか、すみれにもわからない。でも、わるいひとはちがうよ」

なすなす 「そおおいがくと、だいがくいんかてえのほおは、けっこおふつうやでえ」

ひまより 「はえー、かわってるのってー、ひまよりたちの、かよってるかてーだけですかー」

すみっこ 「でも、ここでは、みんなたのしくて、いきいきしてて、いじめなんかもないし、

もしかすると、とてもいいがつこうなのかもしれないと、すみれはおもうんだ」

さつくん 「そーだねー、そーともいえるよー。スマイルにくるあいだのほかに、

あさからゆうがたまで、ずっとぶかつしても、

だれもさつくんをおこらないんだー。そーかんがえると、いーとこだよー」

すみっこ 「こうそくは、ふたつ。みんなにめいわくをかけないこと、と、トガラシげんきん」

さつくん 「こーそくが、あってないよーな、へんなどこだけど、いーとこだよー」

なすなす 「いつもおもうねん。そおおの、ここのかてえにこれて、ほんまによかったわあ」

ひまより 「ひまよりも、そーよくにこれて、よかったですー」

まゆゆゆ 「だな」

なずなず 「そんなめで、
みてるんやね・・・憎しみにみちため」

「いままでやってたのを、もうやめようかっておもってるんだ」

[care-cafe : smiley-smile : 07]

すみっこ「たいようのひかりで、まぶしい、ひるどきのスマイル」

まゆゆゆ「さく、オメー、レギュラーめざしてんだろ、プロテインでものんどけ。からだをうごかしたあとにのむと、きくらしいぞ」

さっくん「どひゃひゃひゃ、なにいつてんのー、

たんぱくしつくらい、いつもタイヤキからとってるよー」

すみっこ「すみっこのまめちしきしゅう。タイヤキにはプロテインは、はいていない」
さっくん「えー、そーなのー？さかなのくには、

プロテインが、たくさんはいつてるんだとおもってたよー」

なずなず「タイヤキには、タイのすりみが、つかわれてるわけとはちごたようなあ」
さっくん「そーなのー、しらなかったー」

まゆゆゆ「このまえ、ひまが、タイのすりみでタイヤキつくってたぞ」

さっくん「そっかー、それでかんちがいしたんだよー。ほんとのタイヤキだー」

すみっこ「あるいみ、かなりのごちそうだね」

ひまぐり「はえー？あ、おきやくさんですー。ひまぐり。にこにこー」

こども「こんにちはー、ひま」

すみっこ「おさない、おとこのこがやってきた」

なずなず「ひまあ。ちっちゃい、かわいいおきやくさんやわあ」

ひまぐり「ちびちびさん、まずは、こゝしゝぐゝぬゝでもどゝぞゝ」

チビチビ「ありがとお。ごくごく、おいしいっ。おいしいなあっ」

さっくん「ごくごくとちがって、そこはぜひ、ちびちびとのんでほしかったなー」

チビチビ「おかしちようだいーい」

ひまぐり「はいー、どゝぞゝ」

すみっこ「チビチビに、そのまんま、かくざとうをてわたす、ひまり」

チビチビ「かりかりかり。おいしい、おいしいっ。さとうみたいなあじがするー」

まゆゆゆ「っはははは、そりゃそうだ」

なずなず「ふふふふ。それで、かわいいおきやくさん、なにかはなしでもあるのかなあ？」

チビチビ「ぼく、いま、しょうねんやきゅうやって、そこでレギュラーになれないんだ。

それで、いままでやってたのを、もうやめようかなっておもってるんだ」

まゆゆゆ「っだらねえな。やめるかどうかはあとできめる。

いまはうまくなることだけかんがえる」

さっくん「そだよー、せっかくはじめたのに、やめるのはもったいないよー」

なずなず「こおこおせえくらいで、やるスポーツをかえるのはどおかとおもうで。

でも、ちびちびくんくらいの・・・しょうかていのこ、くらい？なら、

まだかえてもいいかなって、なずなずはおもうかなあ」

まゆゆ 「やきゅうでつうようしねえやつが、

サッカーやバスケット、つうようすとおもえねえ」

なずなず 「うん、そおやねえ、そおいわれるとそおやね」

さつくん 「すみっこは、どーおもうー？」

すみっこ 「まゆみとおなじかんがえだよ。やきゅうがつづかないのに、ほかのことをしても、レギュラーになれるような、そういう、いいけっかはえられない。

それなら、いまのしょうねんやきゅうをつづけるべきだとおもうんだ」

なずなず 「ひまありちゃんは、どおもうん？」

ひまーり 「はえー、しあいにてれなくても、

すぽーつをつづけてるひとたちって、たくさんいますしー、

すぽーつをしてるひとたちから、おはなしをきくのはどうでしょう？」

なずなず 「うん、そやね。スポーツをやってる、

まゆゆくんと、さつくんちゃんはどおなん？」

まゆゆ 「おれあ、いまは、けんどうでだんたいせんのメンバーになってっけど、

だんたいせんにでれなかつたじきでも、やっぱ、けいこはちゃんとしてたぞ。

しあいにでれなくても、はをくいしばってけいこしてたから、

いま、しあいにでれんだ。だから、チビチビもいまはこんじょうでやりきれ」

チビチビ 「うん、そうだね。ならがんばる」

まゆゆ 「って、なっとくすんの、ずいぶんはええぞ」

なずなず 「まゆゆくん、だんたいせんのしあいで、なんばんめにたたかうせんしゅなん？」

まゆゆ 「ちゅうけんをやったぞ。まあ、そこそのうでまえてこった。

それとな、この、さっきからずっとタイヤキくってる、さつくんておねえさんは、

レギュラーになれなくてもソフトボールをつづけてっぞ」

チビチビ 「さつくんおねえさんは、なんでレギュラーになれないのに

ソフトボールをつづけてるの？」

さつくん 「んーっんん、なんでかなー。よくわかんないな」

まゆゆ 「ソフトボールがよほど好きなんだろ」

さつくん 「そだねー。すきでやってることに、りゅーは、いらなんだよー。

それと、しあいにでれなくても、

ソフトボールをつづけることで、おなじぶかつのともだちもできるし、

がっこうにくるのも、たのしいとおもえるからかなー。

あとやっぱ、さつくんはからだもそんなににおきくないしー、

さいのーがあるかどーかもわからないんだー。

ピッチャーはエースになるのもたいへんだけど、

でも、いつかしあいにでれるとしんじてるから、
がんばってつづけられるのかなっておもうよー」

すみっこ「かなえないもくひようがあるから、つづけられる。」

スポーツにかぎったことと、ちがうよ」

さっくん「チビチビくんも、しあいにでるっていうもくひよーをもって、

それにむかってがんばるー」

なずなず「さっくんちゃんて、いつからソフトボールやってるん？」

さっくん「ちよつとまえからだよー」

ひまうり「はえー。ずーつとまえからだとおもってましたー」

さっくん「むかしは、しょーねんやきゅーのチームにはいつて、

そこでれんしゅーしてたよー。まわりは、おとこのこばっかだったー」

まゆゆゆ「それで、おとこみてえなせいかくにそだったってわけか」

さっくん「んなわけあるかーいー。どひゃひゃひゃひゃ」

チビチビ「そのチームで、レギュラーになれたのー？」

さっくん「ううん、むりだったー。でも、やきゅーはすきだったよー」

ひまうり「ちびちびさんは、やっぱりやきゅーをすきなんですかー？」

チビチビ「やきゅー、だいすきだよ。しあいにでれないのがいやなだけ」

さっくん「だいたとか、しゅびがためで、

しあいにだしてもらえるかもしれないし、がんばるー」

まゆゆゆ「やきゅーがすきなんだろ。いま、しあいにでれねえくれえであきらめんな。

なにも、こうしえんめざせとか、プロになれていつてゐるわけじゃねえんだ。
がんばれば、もしかすつと、チビチビだってプロになれることだってあつぞ。
それに、そういうのソフトボールぶなんて、ぜんこくたいかいにでるくらい、
レギュラーになんのも、れんしゅーも、きついとこなんだぞ。

さっくんおねえさんはそれでもつづけてんだ。

チビチビなら、ぜってえしあいにでれるようになったから、

やめずにつづける。おとこだろ。

とちゅうでなげだすようなやつなんて、どうせ、なにやってもつづかねえ」

さっくん「そーだよー、まゆゆゆのゆーとーりー」。

さっくんのいるソフトボールのぶかつは、

レギュラーになるの、とつてもきついんだよー。

でも、チビチビくんなら、がんばればきつとしあいにでれるよー」

チビチビ「わかった、じゃーがんばるよー、

けんどうのひとと、タイヤキたべてるおねえさんたち、ありがとうー」

ひまうり「ちびちびさん、またきてくださいね、にこにこ」

すみっこ「げんきにスマイルからかえっていく、チビチビ」

さっくん「うーん、きょーは、ちからになれたな」

ひまうり「あの、まゆゆゆゆゆゆさん、

けんどをやめようとおもったこと、あるんですか？」

まゆゆゆ「いっかいもねえ。しんどくても、オレじしんのことを、

こんじょうがねえとおもうのも、おもわれるのも、ぜってえいやだった」

なすなす「さっくんちゃんは、そおゆう、やめたいってこと、かんがえたことあったん？」

さっくん「ちっちゃいとき、しょーねんやきゅーをしたころ、チームのなかで、

まわりがおとこのこばかりで、そのなかでおんなのこはじぶんだけって、

こどものとき、はじめてきづいて、

そーおもったときに、やめたいなって、ちょっとおもったよー。

でも、やめたくなかった。まわりからどうおもわれても、まけたくなかった」

ひまうり「まゆゆゆゆゆさんと、さっくんさん」

やっぱり・・・にたものどうしなんですよ」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー、おとこのこから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてる」

ひまうり「はえ。らぶれたくですか」

さっくん「なににな・・・」

レギュラー！なえなかった！だいだなれた！チビチビ」

まゆゆゆ「きったねえじだな。しかも、じをまちがってっぞ」

さっくん「しあいにでれたんだよー。よかったよー、よかったー」

なすなす「なすなすなんかも、だれかのやくにたてるんやわ。そーおもたわあ」

まゆゆゆ「じょうだんでもなんでもなく、しょうらい、チビチビが、

プロやきゅーせんしゅになっかもしんねえぞ」

さっくん「さっくんたち、プロやきゅーせんしゅになるのを、たすけたのかもしれない」

ひまうり「たすけるって、なんでもないよーでいて、じつはすごいのかもしれないです」

[care-cafe : smiley-smile : 07]

「やきゅーがすきなんだろ。いま、しあいにでれねえくれえであきらめんな」

「かなえないもくひょうがあるから、つづけられる。スポーツにかぎったことと、ちがうよ」

「すぎでやってることに、りゅーは、いらないんだよー」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまより「さっくんさっくん」。

ぎょうむよしの、たいやきやきぎっていうのをもらってきました」

さっくん「やったーっ！そりやすごくきたい・・・してだいじょぶなのー？」

まゆゆ「ぎょうむようだけあって、やたらでかいぞ」

ひまより「さっそく、たいさんの、かぶとやきをつくってみます」

みんな「やっぱそういうことになるかっ！」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまより「はっえ」

さっくん「ひまーりって、あたまのなかに、

ほんとに、のーみそはいってるのか、しんぱいになるな」

まゆゆ「おいこら、あんま、しつれいなこというな」

ひまより「はいってますよ。てまえみそ」

すみっこ「あはは。うまいこという、ひまり」

ひまより「みなさん、せひ、てまえみそをたべてください」

まゆゆ「つははははは、って、なまなましいぞっ、こらっ」

なすなす「ふふふふっ。ひまありちゃんならあ、ほんまにつくりそおやわあ」

ひまより「じゃーためしにーおさるさんの・・・

・・・ふががががっ！くちをしめられました」

みんな「そのことばに、ひょうげんのじゆうをみとめられるかっ！」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまより「できました、ひまりすぺしゃるよんごです」

まゆゆ「んだこれ。このにく、なんのにくだ？」

ひまより「はにゅるいです」

さっくん「はにゅーるいってー？」

ひまより「せーぶつぶのかたにたのんで、

ほにゅるいと、はちゅるいをかけあわせてもらいました」

みんな「って、いでんしそうさかよっ！」

すみっこ「いまはわからなくても、ちょっとずつわかっていけばそれでかまわない。
うん・・・知らないほうがいいことも」

「ぢがうよ、ほんとに、がかになりたいっておもってる」

[care-cafe : smiley-smile : 08]

すみっこ「ぼかぼかようきの、ここちよい、おひるのスマイル」

さつくん「ぐがーぐがー」

まゆゆゆ「さくのいびき、あいかわらずうるせえぞ」

さつくん「もつとタイヤキたべたーいー」

すみっこ「タイヤキをくちにくえながら、タイヤキのゆめをみるさくら」

ひまより「はえー、タイヤキ、すごくすきなんですねー」

なずなず「タイヤキをかみくだいて、のみこみながら、ねてるっ」

すみっこ「すごくきょうな、ねぞう」

まゆゆゆ「じゃあねえ、ねながらタイヤキくわすために、

もうちつと、タイヤキつくってやってくれ」

ひまより「はいー、わかりましたー。あ、おきやくさんですー。ひまー、にににこー」

だんし「こんにちは、ひま」

すみっこ「じしんのなさそうな、だんしがやってきた」

さつくん「もつとくわせるー」

まゆゆゆ「ひまっ。さくのやつ、どんなゆめをみてやがんだ？」

ひまより「げーじつさん、あたらしーめにゆーの、

おさーと、はちみつと、さーとーきびと、かんみりよーのそーだわりをどーぞー」

げいじつ「ありがとうございます。ごくっ、うん、おいしい」

なずなず「ええっ、おいしいん？」

まゆゆゆ「つまり、ふつうよりあまい、ソーダそのものってどこか。

ひまがつくったのに、うまいとは」

なずなず「ひまあ。なにかおはなしですやるかあ？」

げいじつ「ぼく、ことしそつぎようで、そつぎようしたあと、

がいこくの、えのがっこうにいこうとおもってるんだ。

でも、おもいきったことをするゆうきがなくて・・・」

なずなず「かなえないゆめかあ。もくひようをもつことってだいじやおもっでえ。

もくひようにもかってがんばるから、せいちようできるんやっておもいますわあ」

まゆゆゆ「しっぱいはつきものだっっておもっつけ。

だが、しっぱいしてもやりなおしはきくぞ。

もうひとついうと、がいこくって、うまくいなくて、

もし、いつかげつでかえってくることもなくても、えられるものはあるはずだ」

ひまより「ひまよりも、しっぱいしてもやりなおしがきくってゆーの、

ほんとうだなっっておもいますー。

しっぱいをこわがらないでー、がんばるのがいーんじゃないでしょうかー。

あとで、あくしとけばよかったっておもうの、いやですし」

げいじつ 「こなえ、かいてるんだ」

なすなす 「わあ、うまあい」

ひまゝり 「はえ、じょうずです」

まゆゆ 「このうまさ、がかをめざすだけあつぞ。

かんがえようによっちゃ、がっこうなんていなくてじゅうぶんってくれえに」

げいじつ 「あは、ありがとう、うれしいな。でも、うえには、もつとうえがいるよ」

なすなす 「えのがっこう、もしかして、しゅうがくビザでいかはるんですやるかあ？」

かくひなんか、けっこおたいへんやおもうんですが、どおしはるんですか？」

げいじつ 「おやに、りよひと、がっこうのがくひと、

がいこくでの、せいかつひをだしてもらうつもりをしてるよ」

ひまゝり 「はえ、すごく、ゆうふくです、うらやましです」

まゆゆ 「そんなにゆうふくないえなんだったら、

がかになってもならなくても、じゅうぶんくってけっだろ。

それにそれだけゆうふくなら、このくにの、

わたくしりつのえのがっこうにでも、ほかのふつうのがっこうにも、

ちゃんとかくひをはらってもらって、いけそうなもんだぞ」

なすなす 「げいじつさんは、そおおをそつぎようしたあと、

かいしゃいんしながら、しゅみでえをかくっていうのは、どおなんですよ？」

げいじつ 「どうせなら、がかになりたいんだ。それに、もつといえがかきたい」

まゆゆ 「どうせなら、か。かいしゃいんをしながらかいても、よさそうなもんだがな。

なんでそうしねえんだ？」

げいじつ 「え、がかになりたいからだよ」

まゆゆ 「アンタ、ほんとは、がかになりてえんじやなくて、

ふつうのしごとにつきたくねえだけじゃねえか？」

げいじつ 「ちがうよ、ほんとに、がかになりたいっておもってる」

まゆゆ 「そんなに、がかになりてえなら、

このくにの、びじゅつけいのがっこうにでもいけ。

このくにのなかでも、がっこういってるあいだは、はたらかなくてすむぞ。

それなのに、なんでがいこくの、えのがっこうなんだ？」

げいじつ 「でも、がいこくにいてべんきようするほうが、

もつとうまく、いいえがかけるようになるとおもうんだ」

まゆゆ 「おもうんだ、か。そうおもうなら、もういうことはねえ。

がいこくにでも、どこにでもいってけ」

なすなす 「まゆゆくん、もっとやわらかくいったげてえ」

ひまゝり 「はえ、そもそもどうして、がかりになりたいんですか？」

げいじつ 「そりやっぱり、えをかくのがすきだからなんだ。それでだよ」

まゆゆ 「すきにしろ。えがかきたいだの、がかりになりたいだの、

バカのひとつおぼえてえにいいやがって」

なすなす 「たとえば、もし、びよおいんのおいしやさんになりたくて、

それで、いがくぶにいくってゆうんなら、

それはぜったいにひつようなしんろになつてくるとおもいますわあ。

でも、がかりになりたいなら、べつにいがくにくにいくとか、

えのがっこうにしがくするっていうしんろと、ちごてもええんとちゃうかなあ？

それに、ただ、えをかきたいなら、うまくてもうまくなってもいいからかいて、

ともだちにみてもらうとか、ギャラリーをかりてみてもらうとか、

いろいろとみちはあるし、いろいろとかんがえてみると、

ぜったいに、いがくのエのがっこうにいくっていう、

そういうひつようはあらへんのかなあとおもいます」

げいじつ 「……」

まゆゆ 「けつろんはアンタがだせ。アンタのじんせいだ。オレがいうこっちゃねえ」

すみっこ 「げいじつさんは、たぶん、えをかくしごとというのに、

あこがれをもってるんだとおもう。

その、えをかくためにひつようになることの、

がいこくの、えのがっこうにいくというのにも、あこがれをもっている気がする。

でも、がかりになることのげんじつというのは、あまくないとおもうよ。

それでも、えのがっこうとか、えをかくしごとというのをめぎすのなら、

やってみるのもひとつのいきかただと、すみれはそういうふうにおもうんだ」

ひまゝり 「はえ。ひまゝりには、ゆめってゆゝのがないんです。

ただ、ゆめをきぼくとしてもてれば、それでいゝんじゃないでしょ？

なくさず、みうしなわずに、だいにこのころのおくそこにしまつてあつて、

こころのささえにしておいて、それでかまわないきがします。

ゆめは、かなえようとするのちがつて、

ずっともちつづけることがたいせつかなうって、ひまゝりはおもいます。

だから、ゆめとしてもちつづけて、

あるてゝど、じぶんでなつとくがいくように、いつかなれば、

がかさんには、なれてもなれなくても、

どっちでもいいのかなうって、おもうんです。

でも、ひまぐりみたいなく、しゅらいをたのしみにできないひとだから、
そゝおもってしまふのかもしれないです」

まゆゆゆ「がかなんて、くってけるわきやねえ。」

そのことをわかったうえで、いつてやがんだ」

すみっこ「おとなのひとにきけば、だいたいのひとは、ゆめをかなえるということを、

げんじつには、むりだというかもしれない。

でも、じっさいにゆめをかなえられるひとも、ほんのごくわずかにいる。

そこをめざすかどうかという、そのといには、せいかいはないとおもうんだ」

なすなす「なすなすたちがいえること、それくらいやわあ」

げいじつ「もうちょっとかんがえてみる・・・」

ひまぐり「げくじつさん、またきてくださいね。にここにこ」

すみっこ「がつくりしながら、かえていく、げいじつ」

なすなす「ううん、せなかをおしてあげたほうがよかったんやるかあ」

すみっこ「きにするひつようはないよ。」

しんろはじぶんできめるもので、そのためのじよげんはできた。

あのとして、もう、しゃかいにすだつようなひともいる。

そういう、じぶんでかんがえられるとしたよ。

まだ、ゆめをおいかけてもかまわないとしたとおもうよ。

だけど、なにも、がつこうなんかで、こどもがよくいわれるように、

ゆめをおいかけることだけが、ただしいわけともちがうと、すみれはおもうんだ。

ただ、がいこくの、えのがつこうにいきたいということについて、

なすなのいうとおり、せなかをおしてあげるといふのもわるくなかったとおもう。

そのどちらがただしとおもうかは、

なすなど、まゆみのかんがえたのちがいだよ。

それと、ゆめをおいかけているひとが、もしここにいれば、

そのひとは、げいじつさんの、せなかをおしてあげてたとおもうし、

そうすることも、まちがっていないとおもう。

せなかをおしてあげる、あげないということにも、せいかいはないとおもうんだ」

まゆゆゆ「そっか？ かねもちのボンボンのもつ、あまっちよるい、

ゆめとはいえねえ、くだらねえげんそうだ。

おおかた、ふつうにはたらかなくても、おやのおかげでくってけっから、

らくでたのしそうな、そういうしごとにつこうっておもってやがんだ。

くってくのひつしなら、わざわざがつこうって、がかなるうなんていう、

んなくだらねえこと、かんがえっか」

なすなす「さっきもゆうたことやけど、ゆめをもつことって、だいじなことやおもうねん。

ただ・・・ゆめをもつことって、くるしいことやとおもうね。

だって、なすなすも、だいがくいんまでいって、

おないどしの、ふつうのおんなのことちがうせいかつして、

それで、なんでこんなになんばらなあかんのやるておもうもん。

でもそれも、なすなすは、あんましゆうふくとちゃうから・・・しゃあないねん。
げんじつをみていきっていくので、せえいっぱいなんやわ。

ゆめをもつて、それをかなえるために、すぎこのんで、

だいがくいんにいってゐるわけとちごて、もっとげんじつをみてかよってんねん。

なすなすかつて、ほんとはもつとちがう、

あんなしごとにつきたいなっていうのもあったし、

ずっとこのころのなかにもつてたゆめを、

かなえるのがむりってわかったとき、ほんまにかなしかった。

だから、ゆめがあるのに、げんじつをみなあかんのって、

ほんまにくるしいとおもうんやわ。

ゆめをもつって、ほんまは、げんじつとのあいだで、

ただくるしむだけやおもう。

たぶん、げんじつをみてないですむひととか、

げんじつをしらないでいてるひとだけが、

ゆめをもつて、みつづけられるんとちゃうやるか。

そやけど、このかんがえは、なすなすがおもてるだけで、

ほかのひとはちゃうかもしれん。

いまいった、このこと、わかってもらえたらうれしいわ」

ひまうり「はえ、くるしむだけなら、ゆめなんて、もたないほうがいくんどしょくか」

まゆゆ「そうか、くるしむだけか・・・」

むずかしいもんだいだな、オレからはかんたんにはなんともいえねえ。

オレあ、ひまといっしょで、ゆめってやつをもつてねえんだ。

だが、なすはたいへんで、ひっしになつてやがんだ。

オレからは、たいしてたすけられねえが、げんじつでもんのために、

ひっしになつてんなら、なすをできるかぎり、たすけっぞ。

しかし、さっきのやつ、もくひょうのために、

なんにもがんばつてねえようにみえた。

がかなりたいだのなんだの、にげるためのいいわけにつかってやがるだけだろ。

あんなやつ、たすけようってときには、まったくなれねえ」

なずなず 「げいじつさんが、えをかくのがすきっていうのは、うそとちゃうし、

がかななるために、えをかいてきたっていうのも、ほんまやおもう。

なずなずは、そうおもてる。げいじつさんの、めをみて、おもたもん」

すみっこ 「なずなは、ほんとほいげいじつさんのせなかをおしたかったんだ。

なぜかという、なずなは、やさしいから。

でも、なずながいきってきたなかで、ゆめはおいかけないほうがいいって、

そのことをわかってたから、あえてげいじつさんに、

げんじつをつきつけることをせずに、げんじつにいきることをつたえたんだ。

それも、なずながやさしいからなんだよ」

ひまくり

「ゆめをおいかけることがだいじってゆくのほ、うそとちがうとおもいます。」

なずなずなずさんがいったみたいにく、ゆめや、もくひょうがあるから、

せいちょうできるんだと、ひまくりもおもうんです。

でも、なずなずなずさんみたいにく、ゆめをよこにおいておいて、

げんじつのためにがんばることもだいじで、

そくゆくことができるひとつっていうのも、

すてきだなくって、ひまくりはおもいます。

それと、なずなずなずさんは、げんじつにむかってがんばってるのにく、

かんがえかたのちがう、げいじつさんのせなかをおそうとおもった、

そくゆく、なずなずなずなずさん、やさしくなっていくって、おもいました」

まゆゆゆ

「さっきオレがいった、げいじつのやつが、なんにもどりよくしてねえっていう、

そのことばはまちがってねえって、いまでもおもう。

だが、げんじつをみてねえやつがゆめをもつっていう、

なずのいったことと、オレのいったことは、にたようなことだとおもってるし、

それに、なずがいいやつだってえのは、みとめっぞ」

なずなず

「うん……」

まゆゆゆくんにそうおもってもらえて、なずなず、うれしいわあ。

すみっこちゃんもありがとお……

それと、ひまありちゃんもありがとお。

やつぱひまありちゃん、だいすきい。だっこさせてえ。ぎゅううう」

ひまくり

「ふげ、はぐがつよすぎて、ぐるじくです」

すみっこ

「ゆめにむかって、がんばればがんばるほど、ゆめのなかからさめたときに、

おちこみのおおきさはおおきい。

だから、ゆめをもとうとしないひとたくさんいる。

そして、ゆめをもつときは、おおくのひとがあまいゆめをもつんだ。

でも、もちろん、つらいみをゆめとしてもって、それにむかってがんばるひともいる。

すみれがおもうには、つらいゆめとちがう、あまいゆめをもつのは、ゆめをおいかけるのとちがう。げんじつからにげているだけだとおもうんだ。それと、ゆめをもち、それをおいかけるのがいいことか、わるいことか。

そのこたえは、ひとによって、それぞれなんだよ。

このせかいに、ただしいこたえなんて、どこにもないんだ」

さっくん「ぐーぐー、ぱくぱく。あまくておいしーなー、

えにかいたタイヤキー。ぐーぐー」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー、おとこのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてるー」

ひまうり「はえー。らぶれたーですか」

さっくん「なになに・・・」

いま、たんきりゆうがくで、がいこくでまなんでいます。ことばのかべで、くろうしているものの、まいにち、じゅうじつしています。げいじつより」

まゆゆゆ「ほんとにこれでよかったのか、いまでもわからねえ」

なすなす「げいじつさん、じゅうじつしてるっていうてはるし、よかったんやわあ」

ひまうり「はえー、ひまうりたちって、なんのためにいるんでしょーか」

よけーなことをいってただけで、いちげんさんを、まよわせてただけかなうって、たまーに、ひまうりのいるいみが、わからなくなります」

すみっこ「ただしいこたえなんて、どこにもないんだ」

[care-cafe : smiley-smile : 08]

「たぶん、げんじつをみてないですむひととか、げんじつをしらないでいるひとだけが、ゆめをもって、みつづけられるんとちゃうやるか」

「なすなすさんみたいにく、ゆめをよこにおいておいて、げんじつのためにがんばることもだいじで、

そーゆうことができるひとっていうのも、すてきだなうって、ひまうりはおもいます」

「ゆめをもち、それをおいかけるのがいいことか、わるいことか。

そのこたえは、ひとによって、それぞれなんだよ。

このせかいに、ただしいこたえなんて、どこにもないんだ」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「できましたー、ひまりすぺしゃるごーですー。

かわのぶぶんがおいしーですー」

なずなず「なんやこれえ？」

まゆゆゆ「ほんとにくえんのか？」

ひまわり「こらーげん、たっぷりですー」

すみっこ「そのざいりよう、ねんだいものの、さくらのグローブ」

みんな「かわ、ひやくパーセントかよっ！」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「はえー、このにもつ、おもたいですー」

すみっこ「ひまり、だいじょぶ？かわりにもつね。ガシッ」

ひまわり「すみっこさんー、ありがとーございますー」

さっくん「すみっこさんは、ばちからですニヤー」

まゆゆゆ「おいこらっ」

さっくん「このてつのたまを、リングみたいに、にぎりつぶせそつですニヤー」

まゆゆゆ「って、おいっ」

すみっこ「ガシッ。メリメリメリ・・・」

さっくん「わーすごいー、って・・・え？」

すみっこ「そして、べつのひ」

なずなず「みんな、きいてえ。」

なかにわで、シューティングスターダストマンのヒーローショーをやったでえ」

まゆゆゆ「んなもんやってやがんのか」

さっくん「そーよーって、ほんとにむちやながっこーだなー」

ひまわり「はえー、ひまわり、しゅーていんぐすたーだすとまさんの、

えーがのよこくへんを、みたことがありますー」

まゆゆゆ「えいがかんでか？」

ひまわり「はいー、がっこーの、えーがかんでですー」

なずなず「えっ、そおおって、えいがかんであんのっ！？」

さっくん「えーがまでとるなんて、ほんとにむちやするなー、あのヒーロー」

なずなず「そおおがっこうと、そのきんじよで、ボランティアをいろいろしてるっていう、

そおゆうはなしをきいたことがあるわあ」

さっくん 「そーよーだけの、せいぎのヒーローかー。かっこいいーなー。

そーじとか、せんたくとか、くさむしりとか、にちようだいくとか、

そーゆーボランティアを、そーよーとか、そのちかくで、やってるらしいねー」

まゆゆ 「かなりへんでむちゃでじみだけど、

たしかにその、ボランティアをやってるってのは、ヒーローだといえっぞ」

さっくん 「ねーすみっこー。シューティングスターダストマンで、なにものなのー？」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅう。

そうようがっこうと、そのきんじよでかつやくしてる、

せいぎのヒーローということだけ、わかってるよ」

ひまうり 「はえー」

なずなず 「せえとかいの、やくいんのひとが、じつはスーツのなかにはいつてると、

そおゆう、うわさをきいたことがあるでえ」

さっくん 「めちやめちやだなー。へんしんスーツにきがえるの、たいへんだるーなー」

なずなず 「ヒーローショーに、しょうかていと、ようちかていの、

おとこのこたちがきてたわあ」

まゆゆ 「にんきもの、てことか」

なずなず 「しょうかていのおんなのこが、いちばんまえのせきで、

ごっつ、おおごえで、うたをうたってたでえ」

すみっこ 「こどもたちに、ゆめをあたえてる、りっぱなヒーローなんだね」

ひまうり 「ひまうり、しゅーていんぐすたくだすとまんさんの、ぐっずをもってます」

みんな 「えっ、なんでっ!？」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまうり 「ひまうりなんかはおもうんです。ゆりゆりさんはきつと・・・う、うえっ」

まゆゆ 「おい、ひま、だいじょうぶか？」

ひまうり 「はい。で、きつと、そーゆーときには・・・おえっ、うええっ」

ゆりゆり 「ひまうりさん、からだのぐあい、わるいんですか？」

ひまうり 「どんまういです」

なずなず 「ひまありちゃん、すこし、やすんでいいやあ」

ひまうり 「いえ、でも、だいじなとこですし・・・がつ、がはっ。がはっげはっ」

みんな 「・・・・・・」

すみっこ・・・純粹すぎるんだ」

「じつすねば、きょつめをもってもらえるんだろっ?」

[care-cafe : smiley-smile : 09]

すみっこ 「ひるまはあたたかかったけど、もうゆうがたで、

ゆうひがさして、すずしくなってきたよ、スマイル」

なすなす 「まゆゆゆくん、けんとおしにいつてるん？」

すみっこ 「そだよ」

ひまうり 「まゆゆゆゆゆさんがなくて、なんだかさびしくもちです。」

あ、おきやくさんです。ひまう、にここにこ。」

じよし 「ひま。はじめまして」

すみっこ 「しっかりものにみえる、じよしがやってきた」

さつくん 「ひまー。こっちこそはじめましてだよー」

ひまうり 「こむすめさん、こしくぐぬです。どぞぞ」

こむすめ 「ありがとう。ぐび・・ブーーーーーッ！」

さつくん 「ごめーん、あたりだったー？」

こむすめ 「うん、そうみたい。ふきだしてごめん。」

ソーユーグーヌーっていうあじだったよ。しょうゆあじのグーヌー」

すみっこ 「ぬれたとこ、ぞうきんでふいとくね。ふきふき。」

たぶん、コーシーのかわりに、こいくちしょうゆをまぜたみたい」

さつくん 「いろがいつもどーりで、きづかなかったよー」

ひまうり 「はえ？」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅう。グーヌーと、しょっぱさは、あんがいあう」

さつくん 「ほんとですかいなー」

なすなす 「だいじょおぶう？ なにか、はなしい？」

こむすめ 「まゆみくん、いま、ぶかついてて、ここにきてないよね？」

ひまうり 「はい」

こむすめ 「まゆみくんのことで、きいてほしいことがあって」

さつくん 「ニヤハハハハハ、まゆゆゆのことですかニヤー。まゆゆゆのなにがいのー？」

こむすめ 「なににでもいっしょうけんめいで、それに・・うん、

ふだんはおこりっぱいの、ほんとにやさしいところ・・」

さつくん 「えー？ ほんきでいつてんのー？」

ひまうり 「はえ、まゆゆゆゆゆさんのこと、きちんとみてらっしゃいます」

こむすめ 「まゆゆゆゆゆとおなじけんどうぶで、わたし、マネージャーしてるんだ。

それで、まゆゆゆゆゆとしりあって、くわしくなったよ」

なすなす 「おなじぶかつなんやあ、それなら、ほかのひとにくらべてゆうりやるお」

ひまうり 「はえ、すでにおしりあいどしなの、

おきな、あどばんとじだとおもいます」

こむすめ 「しりあいだけど、ただおなじぶかつのしりあいってだけで、

わたしのことなんて、なんともおもってないみたい」

なずなず 「まゆゆゆくんの、おんなのこへのきよおみのなさっぷり。あれはちよつとなあ」

さつくん 「まゆゆゆのこと、どーして、いーなーっておもったのー？きっかけはー？」

こむすめ 「うん、それはね、わたしがマネージャーだからっていうことで、

ゆうがたに、けんどうぶのそうこのかたづけを、ひとりでやらされてたんだ。

そのときに、れんしゅうがおわったあとの、まゆゆゆくんがやってきて、

れんしゅうしたあとで、すぐつかれてるはずなのに、

おもいもんはオレがもつから、オメーはときとうなんもつとけ。

って、てつだってくれたんだ。そのときのこと、いまでもおぼえてる・・・」

ひまうり 「はえ、それでおちたんですね。」

なんだか、せしゅんえくがみたいな、しちゅえくしょんです」

さつくん 「まゆゆゆってば、つみつくりだなー」

なずなず 「なずなずも、そんなされると、きつと、くらっとくるわあ」

すみっこ 「やさしい」

こむすめ 「スマイルのみなさんからみて、まゆゆゆくんて、どうおもうの？」

さつくん 「まゆゆゆがどーかかー。そだねー。」

せは、まーまーたかいしー、べんきょは、まーまーできるしー、

けんどーは、まーまーつよいしー、かおは、まーまーびけーだしー。

あれー？けつこうもてるかもー？」

すみっこ 「のうりよくは、へいきんいじょうがおおい」

なずなず 「せいかくも、こむすめさんのゆうとおり、やさしいやんなあ」

さつくん 「えー、まゆゆゆってやさしーのー？きついせーかくだよー」

すみっこ 「すみれも、まゆみのことをやさしいとおもってる」

なずなず 「なずなずも、おもてるでえ」

ひまうり 「いゝかたは、すこしつよいですが、

あいてのひとのことをかんがえてくれます」

さつくん 「んー、そーなのかー。」

でも、タイヤキやけないからなー。りょーりへただからなー」

なずなず 「ひまありちゃんからみて、まゆゆゆくんてどおなん？」

ひまうり 「はえ、すぎですよ」

さつくん 「えー、そーなのー？いいー」

ひまうり 「はい、ひまうりのつくったおりよりを、いつも、もんくをいわず、

がつがつがつがつがつがつがつがつがつがつがつがつがつ、たべてくれます」

さっくん 「って、そーゆーいみかーいー」

すみっこ 「そうだろうね」

なすなす 「そおゆういみやるおなあ」

こむすめ 「さっくんさんは、まゆゆくん、どう？」

さっくん 「まゆゆとは、ながいあいだのおさなじみすぎて、

さっくんからみても、まゆゆからみても、

うーんー、そーゆーかんけいになるうってきになれないよー。

それよりもー、まゆゆって、そもそも、おんなのこにきょーみあんのー？」

すみっこ 「まったくない」

なすなす 「とおもうわ」

こむすめ 「そうおもう」

ひまうり 「はえー」

すみっこ 「れんあいというものに、きょうみをもっていないとおもうよ」

こむすめ 「わたしのことにも、きょうみをもっていないよ、きっと」

すみっこ 「だからまず、れんあいや、こむすめさんに、

きょうみをもたせることがひつようになるよ」

こむすめ 「どうすれば、きょうみをもってもらえるんだろ？」

いしきしてもらうきっかけで、なにかいいかんがえないかな？」

さっくん 「うううううん。きょーみをもたせるのに、

まったくけんとうがつかないよー・・・。

だったらもう、そのままのきもちをいって、とつげきするー？」

ひまうり 「はえー、いきなりきもちをつたえてもー、

わりい、オレ、そういうのにきょうみねえんだ。

っていわれて、それでおしまいだとおもいますー」

なすなす 「まゆゆくんは、もてるために、いろいろどりよくしてるのとちごて、

ばかにされないためにやってるし、もちあげてみるのをどおやる？」

こむすめ 「まゆゆくん、かっこいいね、っていうの？」

すみっこ 「それはそのまますぎだとおもうよ。まゆみにかぎったこととちがうけど、

きもちにきづいてもらうために、たとえば、けんどうつよいんだね、

って、ふたりきりのときに、あいてのいいところをいうのがおすめ。

それとなく、こういをもつてることをつたえられて、

こういにきづくかもしれない。

けんどうぶどうしで、いってもあまりふしぜんではないし、

まゆみからすると、ほめられることで、こむすめさんへのいんしょうもよくなる」

さっくん 「まゆゆゆのばーい、あたま、かたいよー。にぶすぎなんだよー。

なにいつてやあんだ？だからなんかようか？けんどうおしえてほしいのか？で、おわりだよー。

むずかしく、こむすめさんのことばをかんがえようとしないよー。

うううううん。きづいてもらうのに、まったくけんとうがつかないよー・・・」

なすなす 「なすなすがじっさいに、そおゆう、ほめられて、

かるくきもちを上げられたことがあんねん。

で、ほめられて、やっぱうれしかったし、

それに、あ、このひと、なすなすをよくおもってくれてんのやって、

そういうふうにきづけたで。だから、けっこお、いいてやとおもうわ」

さっくん 「なるほどー」

すみっこ 「けいけんしゃかたる、だね」

こむすめ 「そっかあ、じゃあ・・・」

ひまうり 「はえー、じょうずな、れんあいてくにつくですー」

こむすめ 「もうひとつ、きいてほしいことがあって。

あのにぶい、まゆゆゆくんのことをかんがえると、くるしい・・・」

すみっこ 「ややこしいひとのことを、おもってるんだね」

なすなす 「あれだけにぶくて、うといと、むずかしいわあ」

ひまうり 「はえー、むねをこがす、れんあいえーがみたいですー」

すみっこ 「いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした」

ひまうり 「はえー、おきやくさんですー」

まゆゆゆ 「ああ、はらへった。ひまつ、んだ、いちげんか？」

こむすめ 「・・・！！」

あ、あのっ！まゆみくん、けんどう、つよいんだねっ！ただただだっ！

すみっこ 「いったあと、うつむきながら、はしってスマイルをでいく、こむすめ」

まゆゆゆ 「んだあいつ。れなのやつがきてたか。なんのはなしだったんだ？」

すみっこ 「にぶい」

さっくん 「にぶいよー」

なすなす 「にぶいわあ」

ひまうり 「にぶいですー」

まゆゆゆ 「んだオメーら、にぶいにぶいっていいやがって。あいつ、そんなににぶいのか？」

すみっこ 「ほんと、にぶい」

さっくん 「ほんと、にぶいよー」

なすなす 「ほんま、にぶいわあ」

ひまわり 「ほんと、にぶいです」

まゆゆゆ 「んだそりや。ひま、ラーメンもらっていいか？」

すみっこ 「きょうはすみれがつくる。ごちよごちよ。はい」

まゆゆゆ 「もうぞ。がつがつ・・・ブバーーーーーッ！」

すみっこ 「げきからじごくあのよいきラーメン、からさひやくばい。あじはどう？」

まゆゆゆ 「か、かれえ！いやがらせかってくらいに！みずくれえ！」

すみっこ 「やだ」

まゆゆゆ 「いやがらせかよつ、みず！みずくれっ！」

すみっこ 「いやがらせ」

さつくん 「いやがらせだよー」

なずなず 「いやがらせやわあ」

ひまわり 「いやがらせです」

すみっこ 「はい、のみのもの」

まゆゆゆ 「ぜーぜー。たすかるぞ。ぐびぐび・・・ブバーーーーーッ！」

すみっこ 「いまあげたの、げきからじごくあのよいきソーユーグーヌー、

のうしゅくせんばい、だよ」

まゆゆゆ 「んだぞりや、まだいやがらせがよつ、みず！みずくれっ！」

すみっこ 「もちろん、いやがらせ」

さつくん 「もちろん、いやがらせだよー」

なずなず 「もちろん、いやがらせやわあ」

ひまわり 「もちろん、いやがらせです」

すみっこ 「そして、べつのひ」

さつくん 「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてる」

ひまわり 「はえ。らぶれたくですか」

さつくん 「なになに・・・」

あきらめないでいたいです。このまえのじよしより」

まゆゆゆ 「いいことかいてやがんな。あきらめつと、そこでもかも、おわっぞ」

さつくん 「んつとに、こんのおとこはああああーーーーっ！」

[care-cafe : smiley-smile : 09]

「きもちにきづいてもらつたために、たとえば、けんごつつよいんだね、
って、ふたりきりのときに、あいてのいいところをいうのがおすすめ。

それとなく、こういをもつてることをつたえられて、こういにきづくかもしれない。
けんどどうぶどうしで、いってもあまりふしぜんではないし、
まゆゆゆからすると、ほめられることで、こむすめさんへのいんしょうもよくなる
「

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまゝり 「できました、ひまりすぺしゃるろくごくです。やきにくきょくしよくです」

まゆゆ 「ベタなまちがいを、さらにいいまちがえてっぞ」

ひまゝり 「はえ？」

さつくん 「ところで、ざいりよーはー？」

ひまゝり 「ひゃくじゅーのおくさまの、らいおんさんです」

みんな 「って、んなもん、どうやって

ちようりできるじようたいにしたんだっ！？」

ひまゝり 「しくぶさんの、しくぐやからもらってきました」

みんな 「だから、んなもん、どうやって

ちようりできるじようたいにしたんだっ！？」

ひまゝり 「いゝうんどうになりました」

みんな 「って、たたかったのかよっ！？」

すみっこ 「そして、べつのひ」

まゆゆ 「おい、すみ。なんで、このなまえがスマイルスマイルなんだ？」

すみっこ 「さなえが、えがおをつくりたかったから。みんなにも、じぶんにも」

まゆゆ 「そうだったのか。それと、さなさんて、どういうひとだったんだ？」

すみっこ 「まじめで、どりよくかで、せきにんかんがあって、

かんぺきしゅぎで、きくばりのできる、やさしいひと」

ひまゝり 「はえ、ぱへくとです」

さつくん 「りっぱなひとだったんだな」

なずなず 「いまのせえとかいちよおが、せえとかいちよおになるまえに、

スマイルをつくったんやんねえ。

それって、すごいたいへんやったんとちゃうん？」

すみっこ 「すぐたいへんだった。スマイルをはじめるための、

どうぐをあつめるとか、けいひのかくほ、うんえい、

りようりをつくる、がっこうのこうしょう、そのほかのいろいろなこと、

さなえのときに、すみれもいたけど、はじめるためのじゅんぴも、うんえいも、

ほとんどなんでも、さなえがひとりやってたんだ」

まゆゆ 「しっかりしたひとだったんだ、さなさん」

すみっこ 「まじめなだけに、くるしみもおおきかったみたい。

まじめでせきにんかんがあるぶん、なんでもまじめにかんがえて、

なんでもひとりでかかえこんで、

ひとをすくえなかったときに、くるしんでたんだ」

なずなず 「まじめすぎたんやね。」

それだけに、うまくいかないときのくるしみもおおきかったんや」

すみっこ 「うん」

ひまうり 「すまいるの、りっぱなごしゅじんさんだったんですね。」

ひまうりと、ぜんぜんちがいます」

すみっこ 「ひまり、どんまいだよ」

さつくん 「さなさんがそつぎようしたの、きよねんだっけ？」

すみっこ 「きよねんそつぎようというか・・・ごによごによ」

ひまうり 「はえ？」

まゆゆゆ 「きかねえほうがいいか？」

すみっこ 「そのほうが、すみれはたすかるよ。」

すみれのくちからは、なかなかいいにくいんだ」

なずなず 「じじょおがあったんやね」

すみっこ 「ひとのこころのふれてはいけないところ。」

そのことに、きづくことは、とてもたいへんなことだったみたいなんだ」

ひまうり 「はえ、ひまうりに、そんなたいへんな、すまいるのごしゅじんさんなんて、

ほんとにできるんでしょうか。ちょっと、じしんなくします」

まゆゆゆ 「ひまには、オレたちがいっぞ」

さつくん 「そだよー。みんながいるよー」

なずなず 「そうやでえ、なずなずたちがいるわあ」

すみっこ 「うん、いっしょにわかちあえるひとがいる」

ひまうり 「はえ・・・ひまうり、がんばります」

すみっこ「いつまでもわかりあえないから、ずっと・・・孤独」

「かていないぼりよくで、くるしんでるんです」

[care-cafe : smiley-smile : 10]

すみっこ 「どんよりとした、きかはれなくなるてんきのひの、スマイル」
 さっくん 「きがめいるな」

なずなず 「めいるわあ」

まゆゆゆ 「オレにとっちゃ、すずしくて、けんどうをするにはぜっこうのてんきだぞ」
 さっくん 「ソフトボールのれんしゅーがー、おやすみになりそー」

なずなず 「ふふふ。ふたりとも、ぶかつにむいてるてんきがあわへんのやねえ」

さっくん 「そだねー、あわないよー」

まゆゆゆ 「ひにくなもんだ」

ひまより 「ひにくな、おにくっておりより、いま、かんがえました」

みんな 「にくかよつ、よからぬものが、できあがるきがっ!」

まゆゆゆ 「くわされんの、どうせオレだっ!」

ひまより 「はえ」

あ、おきやくさんです。ひまより、にこにこ」

すみっこ 「どんよりとした、だんしがやってきた」

ひまより 「ふがーさん、まずはこうしぐろぬを、どろぞろ」

ふがー 「いらない」

まゆゆゆ 「ひまつ、いかにもわけありって、かおしてっぞ」

さっくん 「ひまー、どしたのー、くらいよー」

ふがー 「かていないぼりよくで、くるしんでるんです。

まいにちまいにち、あばれて、ものをこわして、なぐって・・・」

まゆゆゆ 「ひでえな、んなめにあってんのか」

さっくん 「ひどいよー」

なずなず 「・・・」

ひまより 「はえ」

すみっこ 「かていないぼりよくをうけるひとたちのための、

いちじてきにみをかくすところがあったとおもう。

まずは、そういうとこ、いってみて」

さっくん 「そーだよー、そーゆーとこ、いったほーが、みのためだよー」

まゆゆゆ 「だな。はやめにいつとけ。より、こじれるまえにな」

ふがー 「それが・・・あばれてるのは・・・ぼく、なんだ」

さっくん 「えっ、ど、どひゃ・・・」

まゆゆゆ 「んだとっ」

なずなず 「!」

ひまより 「はえ」

すみっこ「そうなのか」

ふがー「どうすれば、やめられるでしょうか」

まゆゆ「あぶねえな、それあ」

なずな「そんなの、さっくんたちにいわれてもー。さっくん、どうしようもないよー」

ひまうり「ほらうえゝがより、よっぽどこわいですゝ」

ふがー「がっこうでいやなことがあると、とにかくやつあたりしたくて、

かぞくにぼうりよくをふるうし、ものにもあたるし、

いえでかってるペットにまで、ぼうりよくをふるってる」

まゆゆ「まじかよ、さいていだなテメー」

なずな「・・・」

さっくん「ひどいよー、やめなよー」

ふがー「でも、やめられなくて」

まゆゆ「じぶんのいしでやめられったる！ いますぐそんなことはやめる！

これはテメーのためにいつてんじゃねえ！

テメーのかぞくのためにいつてんだぞっ！」

さっくん「まゆゆのゆーとーりだよー。いますぐやめなよー」

ふがー「やめられる、じしん、ない」

まゆゆ「あぶねえやつだなテメー」

ふがー「じぶんでも、やつあたりしたさを、おさえきれないんだ」

ひまうり「はえゝ」

すみっこ「げんいんをたどっていつて、がっこうでのいやなことというのをへらすことで、

いえにかんじょうをもちこむことが、へるかもしれない」

さっくん「そーだよー、まず、そっちのげーいんをなくそーよー」

まゆゆ「やつあたりしたくなる、そのげんいんをつぶせ」

ふがー「がっこうでのげんいん・・・たくさんあるよ。かぞえきれないくらい」

まゆゆ「ならもう、オレにはどうしようもねえ」

さっくん「にんげんだったら、だれでも、

いやなこととか、うまくいかないことをもってるよー。

がまんするとか、ほかのことですっきりさせるとか、

きぶんでんかんでもいいし、とにかく、いろいろやってみてー」

すみっこ「せんもんのそうだしせつに、いくか、まずは、でんわだけでも試してみて。

せんもんかに、はなしをきいてもらうほうが、かいけつしやすいとおもうよ。

そのあいてはプロだから、はなしもじょうずにするかもしれないし、

はなしをきいてもらうだけでも、きがらくになる」

ふがー「わかった、そうしてみます。じゃあ」

すみっこ「くらいかおで、スマイルをでていく、ふがー」

ひまうり「ふがーさん、またきてくださいねー、にここにー」

さつくん「きよーは、ほんとど、すくえなかったねー」

すみっこ「すみれたちには、てにおえないことだとおもう」

さつくん「あんなにおとなしそうなのに、いえでめちやくちやしてるなんてー」

まゆゆゆ「くそっ、ああいうことが、げんじつにおきてやがんだ。

てつきり、つくりごとのせかいのなかだけか、

ほうどうされてるせかいのなかだけだとおもった」

すみっこ「このよのなかというのは、みんながおもってるほど、

ひょうめんにみえてるように、きれいとちがうんだとおもう。

だから、ふこうなことが、みんなのしらないところで、

つぎつぎにおこってるんだ」

まゆゆゆ「きたないところ、か」

さつくん「さつくん、おちこんだよー。くらいきもちに、こっちもなるよー」

なずなず「うう……」

すみっこ「なずな、だいじょうぶ？」

なずなず「うん……」

ひまうり「はえー、なずなずさん、だいじょうぶですかー」

さつくん「なずなずー、だいじょーぶー？すごく、くるしそーだよー」

すみっこ「いまは、そっとしておいてあげて」

なずなず「う……う……」

……うううう、うううう。

……うわああああん！うわああああああん！

ああっああっああっ！」

[care-cafe : smile-smile : 10]

「かていないぼつりよくをつけてるひとたちのための、

そういう、いちじてきにみをかくすところがあつたとおもう。

まず、そういうところ、いつてみて」

「にんげんだったら、だれでも、いやなこととか、うまくいかないことをもってるよー。

がまんするとか、ほかのことですつきりさせるとか、

きぶんでんかんでもいいし、とにかく、いろいろやってみてー」

「せんもんのそうだしせつに、いくか、まずは、でんわだけでもしてみてもいいよ。せんもんかにはなしをきいてもらうほうが、かいけつしやすいとおもうよ。そのあいてはプロだから、はなしもじょうずにするかもしれないし、はなしをきいてももらうだけでも、きがらくになる」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「はえ、すみっこさんのすきなおりより、なんでしょくか？」

すみっこ「バッテリー」

ひまわり「はえ、ばってらおいしくです」

すみっこ「いきるげんどよりよくだよ」

ひまわり「はえ、よほどおすすめなんです。こんどつくります」

さっくん「どーかんがえても、ひまーりがたべておいしいバッテリーとは、

ちがうとおもうよ」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「はえ、すみっこさんて、なんさいなんですか？」

すみっこ「みんなといっしょ」

さっくん「んー、そーはみえないよー」

すみっこ「しつれいだよ、ぶんぶん」

さっくん「としが、じゅっさいよりすくない、ちっちゃいくらいにみえるよ」

すみっこ「おかしなこといわないでっ」

でも、うまれてこのかた、いっセンチもせがのびていない」

みんな「まじかよっ！」

さっくん「あーそっか、そーいえば、すみっこは、るぼ・・・

ぶえっくし！きよーはさむいな」

ひまわり「ひまわりも、さっくんさんも、すみっこさんも、みんながらす」

さっくん「どっひやー、それはいわないで」。

え？でも、さっくんは、まだのびてるよ」。

それに、だいたいへーきんくらいだよ」

ひまわり「ひまわり、ちっちゃいってよくいわれます」

なずなず「ひまありちゃんの、そおゆうところも、かわええわあ。だいすきい」

まゆゆ「なずにかんしては、まあまあかいてとこか」

すみっこ「すみれとしては、みためを、かいぞうしてほしい」

まゆゆ「みためをかいぞうって、びょういんの、しゅじゅつか？」

すみっこ「こうじょうだよ」

さっくん「あーそっか、そーいえば、すみっこは、るぼ・・・

はっくしよ！あー、かぜひいたかも」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまうり「できました。ひまりすぺしやるななごうです」

なずなず「なんていうりょおりなん？」

ひまうり「とんかつらくめんです」。

とんこつすーぷのかわりに、とんかつをいれました」

さっくん「きょーは、きたいできそー・・・？」

なずなず「まゆゆくん、よろしく」

まゆゆ「オレかよっ、まあくってみっか。がつがつ。

めずらしいこともあるもんだ。おいしいぞ」

なずなず「で、なんのおにくなん？」

ひまうり「はい、とんです」

さっくん「まともだ」

なずなず「とんをあぶらであげたんかあ。ちゃんとしたざいりよお、っこてるう」

すみっこ「このおにく、どこでかつたの？すみれは、ぶたを、しいれていないよ」

さっくん「どきっ」

なずなず「いやなふんいきに、なってきたわあ」

まゆゆ「どういうオチなんだ？」

ひまうり「ろじうらの、うすぐらい、ぺっとしよっぶさんで、しくれてきました」

まゆゆ「おいっ、んなあやしいとこでかうなよっ。もう、くっちまったぞっ」

さっくん「でも、ぶたは、ぶただよ」

まゆゆ「なら、さくがくえよ」

さっくん「うーん、えんりよする」

すみっこ「どういいういきものなの？」

ひまうり「はい、とんはとんでも、ぶたさんとちがつて、

あしが、はちほんはえてて、めが、さんじゅっこあつて、

はねが、にじゅうまいついてて、それから、あたまに、のゝみそが・・・」

みんな「それって、ほんとにちきゅうのいきものなんだよねっ!？」

まゆゆゆ 「こんなもんじゃねえにきまつてる。いきていくうえでの・・・苦しみてのは」

「えと、すきなひとが、ふたりいてるんです」

[care-cafe : smiley-smile : 1 1]

すみっこ「くもってはいないけど、あめがすこしふってる、ふしぎなてんきのひのスマイル」
 さっくん「きつねのよめいりだー」

なずなず「めずらしいわあ」

まゆゆゆ「そんなひもあるか。さくに、よめのもらいてがついてほしいぞ」

さっくん「って、どーゆーいみやねーんー」。

まゆゆゆこそ、もらいてをさがすのをすすめるよー。どひゃひゃひゃひゃひゃ

まゆゆゆ「おいっ」

ひまーり「はえー、まゆゆゆゆさんて、ほんととおとこのひとなんでしょーか？」

まゆゆゆ「ほんととおとこか、というよりは、ほんとに、おとこだぞ」

さっくん「まゆゆゆさんてば、めがねのおくは、おんなのこみたいな、

びしょーじよのような、かわいらしいような、おかおですからニャー」

ひまーり「はえー、とゆーことは、ほんととおんなのひとなんでしょーか？」

まゆゆゆ「こんなに、せのでかいおんながいるかっ。はなしをへんなほうにもってくなっ」

さっくん「けんどーをするより、じよしバレーボールぶを、めざしてほしーですニャー」

まゆゆゆ「だから、よけいなこというなっ」

なずなず「ふふっ、ふふふふふっ。そんなきはしてたでえ」

ひまーり「はえー、やっぱりそっちですか」

まゆゆゆ「おいっ、こらっ。

そんなにしりたいなら、すみっこのまめちしきしゅうでもみとけっ」

さっくん「どーかいてありますかニャー？」

すみっこ「すみっこのまめちしきしゅうには・・・ふっ・・・」

まゆゆゆ「おいっ、オメーまでっ」

ひまーり「はえー、とゆーことは」

なずなず「やはりい」

さっくん「そちらが、ただしーんですニャー」

まゆゆゆ「だ、か、ら！おとこだってっ！」

ひまーり「あー、おきやくさんですー。ひまー、にここにこー」

じよし「えと、こんにちは、ひまです」

すみっこ「うちきそうな、めがねをかけたじよしがやってきた」

まゆゆゆ「ひまっ」

なずなず「ひまあ」

さっくん「ひまー、なんのはなしなのー？」

ひまーり「ねこじたさん、こーしーそめーんですー、どーぞー」

まゆゆゆ「ずいぶんと、かわったなまえの、そうめんだぞ」

ねこじた 「うつ、いただきます・・・ずるずる・・・うつ、うえつ、にがいっ

ひまうり 「えすぷれっそあじです。おいしくでしょう？」

さつくん 「それは、かおをみればわかるよー」

すみっこ 「さいごまでたべる、ねこじたさん、りっぱだね」

ねこじた 「もらったものだし、ちゃんとたべます」

さつくん 「まゆゆゆみたいだー」

なずなず 「まゆゆゆくんと、きがあいそおですわあ。

それで、なにかおはなしですやるかあ？」

ねこじた 「えと、うち、いま、すきなひとがいるんです」

さつくん 「ニヤハハハハハ、そのてのおはなしですかニヤー。

ほんに、スマイルには、そーゆーそーだんが、おーく、よせられますニヤー」

まゆゆゆ 「さくの、すきそうなはなしだ」

ねこじた 「それで、えと、すきなひとが、ふたりいてるんです」

さつくん 「どっひゃー、ふたまたですかニヤー。みかけによりませんニヤー」

まゆゆゆ 「さいごまで、はなしをきけっ」

ねこじた 「えと、どちらのひとのことも、まだかたおもいしているところですよ」

なずなず 「ふたりのひとつ、どんなひとなんでしょお？」

ねこじた 「はい。えと、ふたりとも、せんぱいです」

なずなず 「そおなんやあ。としうえって、かっこええですよんねえ」

ひまうり 「そのおふたりどしは、どのような、ごかんけうなんでしょ？」

ねこじた 「えと、ふたりは、おたがいをしらないです」

さつくん 「まゆゆゆも、とししたをねらっちゃえー」

まゆゆゆ 「っせーぞこらっ」

すみっこ 「ふたりをおなじときに、っていうの、くるしいね」

ねこじた 「はい！そうなんです。くるしくて。

それで、あの、えと、うちのすきなひとつっていうのが、

かたほうは、サッカーぶで、もうかたほうは、バスケットなんです」

さつくん 「どっちもスポーツマンかー」

なずなず 「にたかんじの、ふたりのせんぱいなんですやねえ」

ねこじた 「それが・・・ぜんぜんちがって・・・」

さつくん 「どゆことー？」

ねこじた 「かたほうが、サッカーぶなんですけど・・・、

もうかたほうのせんぱいがバスケットぶで、

バスケットぶのせんぱいが・・・えと・・・う・・・」

なすなす 「いいにくそおやねえ」

ひまゝり 「はえゝ。よほどだいじなことですねゝ」

さつくん 「ニヤハハハハハ、どーゆーことですかニヤー？」

まゆゆゆ 「いいにくいなら、いわなくていいぞ」

ねこじた 「このこと、しんゆうにも、おやにもいえてなくて・・・」

ひまゝり 「ならゝ、ここにいるみなさんが、おききますゝ」

なすなす 「ほかのひとにゆうことで、すつきりするかもしれんとおもいます」

さつくん 「どんだん、いーなすってニヤー」

ねこじた 「う・・・やっぱり、いけない・・・」

ひまゝり 「バスケぶのせんぱいのしんちようは、なんせんちくらいでしよゝかゝ？」

ねこじた 「えっ、えと、ひやくろくじゆう・・・より、ひくいくらいだとおもいます」

まゆゆゆ 「バスケやつてるわりに、ずいぶんちっせえな」

ひまゝり 「はえゝ、なすななすさんくらいのたかさでしよゝかゝ」

なすなす 「！・・・そつかあ。わかったわあ」

さつくん 「なるほどニヤー、わかりましたニヤー」

まゆゆゆ 「なにがわかったんだ？」

なすなす 「まゆゆゆくん、きかんときい」

ひまゝり 「はえゝ、ひまゝりもなんとなくわかりましたゝ。

おとなむけの、れんあいえゝがみたいな、しちゅえゝしよんですゝ」

まゆゆゆ 「どういうことか、オレにもおしえろよ」

すみっこ 「やぼ」

なすなす 「そやでえ、きかんときい」

さつくん 「なんともいわせなさんニヤー」

すみっこ 「せんさいな、ししゅんきのじぎのおんなのこととして、

そういうきもちは、とくにおかしなことはちがうんだ。

よくあることだよ。ほかに、おなじようなきもちをもってるひともおおいよ。

そういうきもちをもつのは、ししゅんきのときだけっていうこともおおいから、

そんなにきにしないでかまわないとおもう。

それに、きつと、ねこじたさんは、せんさいなきもちをもってるひとなんだよ。

だから、むしろ、くるしむより、じぶんをほこるくらいにおもうといいよ」

ねこじた 「ほっ、そうなんですか」

なすなす 「そやでえ」

ひまゝり 「さつかゝほいひとと、ばすけほいひとだと、どっちのかんじのひとを、

いままでに、すきになったかすがおゝいでしよゝかゝ？」

ねこじた「えと、サッカーばいひとのほうがおおいです。」

バスケットボールをすきになったのは、いまのいちどだけなんです」

さつくん「なら、ぜんぜんきにするひつようないよー」

なずなず「いまだけ、バスケットボールを、すきになるんやとおもいますわあ」

まゆゆ「オメーら、なんのはなしをしてやあんだ？ぜんぜんついてけねえ」

すみっこ「たとえばネコたちがいたとして、みんな、さかなをたべるネコだったとする。

そしてそのネコのしゃかいに、おとなになるまでの、ほんのすこしのあいだだけ、さかなも、やさいもおいしくて、どっちも、たばたいとおもうネコがいたとする。でも、ネコのしゃかいで、さかなもやさいも、どっちもたべられるネコが、さかなとやさいと、どちらもおいしいとおもって、どっちもたべられるのって、まわりから、めずらしがられて、それで、くるしむこともあるかもしれない。だけど、ほんのすこしだけのあいだ、どっちもたべたいとおもえるという、

ふつうのネコよりおおくのことに、きもちをよせられることは、

ながい、じんせいのなかで、ほんのいっしゅんのきらめきのような、

むしろ、しあわせといっていいくらいのけいけんだって、すみれはおもうんだ」

なずなず「なずなずも、すみっこちゃんのいうとおりやとおもいますわあ。

そんなすてきなきもちになれるの、いまだけやとおもいます」

さつくん「ふたつもすきになれるんだよー。たのしーことがふえるよー」

ひまうり「ねこじたさん、すばらしくかんせーを、おもちだとおもいます」

ねこじた「そうですね、ほんのすこしのあいだの、きらめき・・・」

なずなず「このきもちがうまくつたわらへんでも、それでも、かまへんのかなって、

なずなずはおもいますわあ。かたおもって、そういうもんやとおもうわあ。

それに、ほかのサッカーばいひとをすきでもいて、そちらのひとと、

うまくやっていけるようにしてもいいとおもいます。

そうすることで、しだいに、バスケットボールをすきになるつよさがへってって、

くるしみもすくなくなるんとかやうかなっておもいます」

さつくん「ほかのだれにもいっていないことなら、めずらしがられずにすむよー。

ふたりをおなじときにいいなっておもっても、そんなの、

ねこじたさんがほかのひとにいてないなら、

まわりからなんともおもわれずにすむし、きにしないでいーよー。

かたおもいのきもちをバスケットボールのせんぱいというと、ややこしくなるけど、

むねのおくに、おいとくだけにするといいかもしれないよー。

かたおもいがうまくいかないとか、だれにもいえないことなんて、

あたりまえだとおもうよー」

ねこじた「そっか・・・ほっ、みなさん、ありがとうございました」

ひまうり「ねこじたさん、またきてくださいね、にこにこ」

すみっこ「あんしんしたかおつきで、スマイルからかえっていく、ねこじた」

さつくん「きょーは、ちからになれたな」

なずなず「よかったわあ」

すみっこ「こころほそいきもちを、かるくできた」

ひまうり「こころほそい、いちげんさんが、きょーのおはなしをできたのは、

すまいるというところだったからこそだとおもいます。

すまいるのみなさんで、すごいなうって、おもいました」

なずなず「そやわあ、スマイルのみんなやからできたんやわあ」

さつくん「そーだよー、すごいよー」

すみっこ「みんな、りっぱだとおもう」

まゆゆゆ「オレだけ、さいごまで、なんのはなしか、わからなかった」

さつくん「なずなずも、けっこー、あーゆーきもちをもつんじゃないかなー。

ひまーりのこと、かわいがってるよー」

なずなず「ううん、そおゆうきもちとは、だいぶちやうよおなあ」

ひまうり「はえ、すごく、かわいがってくださいます」

さつくん「すみっこのまめちしきゆうには、

なずなずのもってる、ひまーりへのきもちって、どーかいてあるのー？」

なずなず「きになるわあ、おしえてえ」

すみっこ「すみっこのまめちしきゆう。

なずなは、ひまりのことを・・・ハムスターみたいにおもってる」

さつくん「って、しょーどーぶつかーいー」

ひまうり「はえ、ぺっとさんみたいなのですか」

なずなず「ほんまやあ、かいてあるとおりやわあ。

ひまありちゃん、かわいいいいっ。また、きせかえしてあげよおねえ。

ピンクのリボンなんかどお？フリルの、たっくさんついたブラウスもお！」

ひまうり「はえ、もういっかい、きせかえですか。わかりました」

さつくん「って、すなおにやって、いやがらんのかーいー。

ところで、さっきいった、まゆゆゆさんが、

ほんとうは、だんしかじよしか、どっちなのかってゆーのは、

すみっこのまめちしきゆうには、けっきよく、どーかいてありますかニャー？

まゆゆゆさんは、おんなのこさんに、きょーみありませんからニャー」

ひまうり「はえ、おんなのこさんに、きょーみがないとゆうことは」

なすなす 「きょおみがないとゆうことはあ、やはりい」

さつくん 「きょーみがないとゆーことはー、そちらが、ただしーんですニャー」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅうには・・・ふっ・・・」

まゆゆゆ 「だーかーらーっ！おとこだってー！ー！ー！ー！っ！」

すみっこ 「そして、べつのひ」

さつくん 「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてるー」

ひまうり 「はえー。らぶれたーですかー」

さつくん 「なになに・・・」

ねこじたです。いまでもちよっとくるしいのですが、すこし、ましになりました」

まゆゆゆ 「どういふはなしかよくわかんねえが、ちっと、ましになったらしい」

ひまうり 「はえー、ちよっとは、ちからになれたんでしょーかー」

さつくん 「きもちがましになったんだよー。それだけでも、よかったんだよー」

なすなす 「そやわあ、ちからになれたんやわあ」

すみっこ 「ひとのこころの、ふれてはいけない・・・ところ」

まゆゆゆ 「オメーら、なんのはなししてやあんだ？」

[care-cafe : smiley-smile : 11]

「そんなすてきなきもちになれるの、いまだけやおもいます」

「ふたつもすきになれるんだよー。たのしーことがふえるよー」

「すばらしくかんせーを、おもちだとおもいますー」

「ほんのすこしだけのあいだ、どっちもたべたいとおもえるという、

ふつうのネ」よりおおくのことに、きもちをよせられることは、

ながい、じんせいのなかで、ほんのいっしゅんのきらめきのような、

むしろ、しあわせといっていいくらいのけいけんだって、すみれはおもうんだ」

すみっこ「そして、べつのひ」

さつくん「ひまーりのあしについてる、そのどーぐ、なんなのー？」

まゆゆゆ「んだそりゃ」

さつくん「まゆゆゆを、けつとばすちからをつよくするどーぐー？」

まゆゆゆ「おいっ」

ひまーり「はいー、からだがよわってても、ちゃんとあるけるようにする、じじよぐですー」

みんな「……………」

すみっこ「そして、べつのひ。

すみっこのまめちしきしゅう。ひまりちゃんきせかえぶ、がつくられている」

ひまーり「はえー」

さつくん「どひゃー、そーなんだー、そんなのつくられてるんだー」

まゆゆゆ「そうように、んなもんがあんのかよ。ひまのゆるし、とってんのか？」

ひまーり「はいー、おゆるしましたー」

さつくん「って、ゆるしたんかーいー。ところで、そのふくぶちよーは、だれなのー？」

なずなず「ふふふふふ。ふっふっふっふっ」

みんな「やっぱアンタだとおもったよっ！そもそもアンタだいがくいんせいだよっ！」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまーり「できましたー。ひまりすぺしやるはちごーですー」

なずなず「こんどはなんやるお」

ひまーり「えすかるごさんを、あぶりましたー」

さつくん「ぎよぎよ、ざんこくだなー」

まゆゆゆ「おおかた、じつはそこらの、かたつむりっておちだる」

すみっこ「というより、それタニシ」

ひまーり「つぎはー、なにをあぶりましょーかー」

みんな「きょうふのものがたりの、はじまりかっ！」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまーり「はえー、なんですまいるには、おしよくじするためだけの、

おきやくさんがこないんでしょーかー？」

さっくん 「そりゃーやっぱ、ひまーりのりょーりが、とんでもなく、

まず・・・もとい、きょうれ・・・もとい、こせーてきだからだよ。
うん、そーそー。ど、どっひゃっひゃ」

ひまーり 「とんでもなくまずもといきょうれもといこせーてきなおりよりですか。
よくわからないですが、ほめてもらえてうれしくです」

さっくん 「どっひゃー。おい、さっくんに、ほめてるきはなさそーだよ」

まゆゆ 「オレあ、くいにきてっぞ」

なすなす 「まゆゆくん、やさしいもんねえ、ふふふっ」

まゆゆ 「んだと？どこがだ？」

なすなす 「ほんと、なんでスマイルにきてるか、みんなしってるでえ」

まゆゆ 「なにいつてやあんだ？へんなこといいやがって」

すみっこ 「じぶんでじぶんの、ほんとうのきもちにきづいていない、まゆみ」

まゆゆ 「おいこら、かってにかいせつすんな。オメーのやくわりは、てっだいだろ」

すみっこ 「どんまい」

さっくん 「さっくん、タイヤキたべにきてるよー」

まゆゆ 「んなこと、だれだってわかってっぞ」

すみっこ 「さくらがじぶんでいつてるのは、ほんとのきもち」

なすなす 「なすなすのばあいは、おないどしぐらいのひとと、はなしたいからやわあ。

それと、かくせえふくをきたいからやでえ」

さっくん 「だいがくいんせーだけど、おないどしたちと、せーしゅんしたいんだろーな」

すみっこ 「すなおにいう、なすな。でも、ひとをたすけたいというきもちも、つよいよ」

なすなす 「ううん、でも、よく、ほんまにちからになれてんのかなあっておもうでえ」

ひまーり 「ひまーりは」。

はえ、なんですまいるにきてるんでしたっけ？」

みんな 「えっ、そんないじなことわすれたっ！？」

さっくん「ほかのひとにたいして・・・踏みにじってきたのかな」

「なんつうかな、その……うじめられてんの」

[care-cafe : smiley-smile : 12]

すみっこ 「もう、ゆうがたがおわって、よるになるうとしているときの、スマイル」

ひまうり 「きょうは、もう、へうてんにしましょか」

まゆゆ 「いちんち、ひとがこなかったせいで、べんきようがはかどったぞ」

さつくん 「ぐがーぐがー」

まゆゆ 「さく、おきろっ」

さつくん 「あと、ななひきー」

なすなす 「しあわせそおな、ひよおじよおやわあ」

まゆゆ 「おいおきろ、ひっぱたいてやる。ぺしぺしぺしぺし」

さつくん 「おいしそーな、かおりだー」

まゆゆ 「まだねてやあんな。おいっ、やけたぞっ」

さつくん 「ふがっ！もーできたのー？まちくたびれたよー」

まゆゆ 「またタイヤキのゆめか」

さつくん 「タイヤキどこー？」

まゆゆ 「いっぴきやるから、とつとと、くつとけ。もうへいてんだ」

さつくん 「ありがとー。ぱくぱく。おいしーなー」

ひまうり 「はえう、おきやくさんですう。

グーヌー 「こんばんはう、ひまう、ぐうぬうさんう、こうしうさんう」

グーヌー 「こんばんは、ひまです」

コーシー 「・・・」

さつくん 「ふああああ。ひまー。どーかしたのー？」

まゆゆ 「ひまっ。げんきねえぞ」

なすなす 「グーヌーさん、そおよおのせいとさんみたいやねえ。

コーシーさんは、べつのがっこうのひとですやるかあ？」

すみっこ 「ふたりのじょしがやってきた。みなれないせいふくをきてる、コーシー」

グーヌー 「コーシーね、よそのがっこうにかよってんの」

さつくん 「なんのよーなのー？」

なすなす 「おもいはなしなんやろおねえ、だいたいわかりますわあ」

グーヌー 「みいさ、いっていい？」

コーシー 「・・・こくっ」

グーヌー 「コーシーね、よそのがっこうで、なんていうかな、

その・・・いじめられてんの」

さつくん 「ひどいよー」

ひまうり 「ひどいですう」

まゆゆ 「んだと」

すみっこ「げんいんは、なんなの？」

グーヌー「せがひくい、って」

さっくん「そんなの、いーがかりだよー」

ひまうり「コーシーさんのほうが、ひまうりより、ずーっと、おつきーですー」

なすなす「まだまだ、のびるとおもいますわあ」

すみっこ「コーシーさんに、なんら、おちどはないよ」

グーヌー「もう、がっこうにいきたくないんだよね？」

コーシー「・・・こくっ」

すみっこ「がっこうにいけなくても、じゅくでべんきょうするとか、よびごうにかようとか、そういうところでべんきょうをすることはできるし、

ちゅうがっこうや、こっこうを、もしそつぎょうできなかったとしても、

だいがくや、せんもんがっこうにかようみちはあるよ。

だいがくなら、にんげんかんけいも、うすっぺらくて、

いまのがっこうにかようことで、にんげんかんけいにじしんをなくしても、

だいがくでなら、やりやすいし、やっていけるといえるよ。

おないどしのひとと、いっしょにやっていくのがむずかしくても、

それに、がっこうというところがあわないとしても、

しゃかいにできれば、いまでとはちがう、

にんげんかんけいのありかたをつくりあげることになるし、

がっこうがあわなくても、しゃかいでならやっていけるんだ。

それに、せんもんがっこうとちがう、かくしゅがっこうなら、

かくれきふもんで、にゅうがくできるばあいもあって、

そういうがっこうでしかくをとって、やっていくというみちもあるんだ。

まだみちはおおくのこされていて、そういうのを、いろいろしらべてほしい」

なすなす「コーシーさんの、ひととせつするちからにもんだいがあるんとちごて、

あいてにもんだいがあるんやとおもいます。

だから、じぶんをわるくおもわないでいてほしいです」

さっくん「がっこうで、ぶかつなんかで、ぶかつのなかで、ともだちをつくってみるとか、

ほかに、がっこうのそとで、ともだちをつくってみるのはどーかなー？

がっこうの、いやがらせをうけるしゅーだんのなかだけが、

いるべきところとおもわないですむよー」

ひまうり「こくしーさんには、ぐくぬーさんがいてくださってらっしゃいますー。

そのことをおぼえていれば、そつぎょうまで、やりとげられるとおもいますー」

まゆゆ「わなわなわな」

さつくん 「わなわなわな・・・って？」

まゆゆゆ 「っざけやがってえええええっ！ いますぐそいつらここつれてこいっ！

ばくとうで、オメーがあじわったのとおなじくるしみあじあわせてやるっ！」

さつくん 「どひゃー、きょーの、まゆゆゆは、いままでになく、あついなー」

ひまうり 「はえゝ、こんなあつい、まゆゆゆゆさんゝ、はじめてみましたゝ」

まゆゆゆ 「オメーに、ひはねえ！ わるいのはぜんぶそのカスどもだっ！

じぶんをせめるな！ ぜったいにくっするな！

そしてなにがあってもあきらめるな！」

コーシー 「・・・！！」

すみっこ 「まゆみのいうとおりだと、すみれもおもう」

なずなず 「なずなずも、おもいますわあ」

さつくん 「さつくんも、そーおもうよー」

ひまうり 「ひまうりも、おもいますゝ」

まゆゆゆ 「んなカスいカのれんちゅうにきがいくわえられても、

んなやつらあいてにすんなっ！

オメーには、たすけてくれるやつがいるってことをぜってえわすれんな！

オメーはひとりじゃねえんだ！ いまここにいるやつらだけじゃねえぞ！

みんながオメーにみかたして、みんながオメーをたすけようとしてんだ！」

グーヌー 「まゆゆゆくんのいうとおりだと、あやなもおもうよ。

あやなもずっと・・・みいさのみかただよ

コーシー 「・・・グスッ・・・」

すみっこ 「そして、べつのひ」

さつくん 「あー、おんなのひとから、まゆゆゆあてに、てがみかとどいてるー」

なずなず 「まゆゆゆくうん、てがみかとどいてるでえ」

ひまうり 「はえゝ。らぶれたゝですかゝ」

さつくん 「やぶいてなかをみちやえ、ビリビリビリ。なにになに・・・、

まゆゆゆさんに、おともだちになっほしいです。みいさより」

みんな 「ほんとにラブレターだっ！」

[care-cafe: smiley-smile: 12]

「まだみちはおおくのこわれてっつて、そついつのを、いろいろしらべてほしい」

「オメーに、ひはねえーわるいのはぜんぶそのカスどもだっ！

じぶんをせめるな！ぜったいにくっするな！そしてなにがあってもあきらめるな！」
「んなカスいかのれんちゅうにきがいくわえられても、んなやつらあいてにすんなっ！
いいか、オメーには、たすけてくれるやつがいるってことをぜってえわすれんな！
オメーはひとりじゃねえんだ！ここにいろやつらだけじゃねえぞ！
みんながオメーにみかたして、みんながオメーをたすけようとしてんだ！」

すみっこ「そして、べつのひ。

かちっ」

ひまわり「はえ、すみっこさん、なにしたらっしゃるんですか？」

すみっこ「バッテリーたべてる」

ひまわり「きょうはなんだか、げんきがなかったですが、おなががすいてたんですね」

すみっこ「うん。エナジーがたりなくなりかかってたから、

そのしょうひりょうを、おさえめにして、かつどうしてたんだ」

ひまわり「なら、こんど、ばってらつくります」

すみっこ「もちはこびができると、うれしい」

さっくん「あー、さすがのひまわりでも、つくれないとおもいますよー」

すみっこ「そして、べつのひ」

まゆゆ「よくタイヤキをいちどに、にひきもくちにいれられるもんだ」

さっくん「ふもふもふもー。ふもっふー、ふもふー」

まゆゆ「にひきもくしながらしゃべんな」

ひまわり「ひまわりも、くちにたくさんいれられます」。

ために、タコヤキをごにんまえ・・・もしや・・・ぷく」

なずなず「わあ、ハムスターみたいやわあ。やっぱ、かわいいわあ」

さっくん「わーすごいー、って・・・え？」

さっくん「ねー、まゆゆー。けんどーおしえてよー」

まゆゆ「つたるい。けんどうぶにでも、にゆうぶしとけ」

さっくん「えー。けちー」

なずなず「ひまありちゃんのこととは、なずなずが、まもるでえ」

ひまわり「はえ。ひまわり、すもぶの、ふくぶちようさんを、

どひようぎわで、ぶんなげたことがあります」

さっくん「わーすごいー、って・・・え？」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー。なにこのノートー」

ひまわり「ばらばらばら。につきみたいです」。

につきみたいなのほかにも、いろいろかいてあります」

すみっこ「それ、さなえがかいてた、スマイルのうんえいにつしだよ」

なずなず「うわあ、ごっつ、こまかくいるかいてあるわあ」

まゆゆゆ「オメーら、んなもん、かってにみんな。しゅみわりいぞ」

ひまより「はえ、しゅれたざいりより、つくったおりより、

ほかにも、どんなひとがいちげんさんでいらっしゃったか、

ほかにも、すまいるのことが、なんでもかいてあります」

さつくん「こまかいー」

まゆゆゆ「だから、かってにみんなって」

なずなず「ほんまに、かんぺきしゅぎのひとやったんやわあ。きちよおめんやわあ」

すみっこ「うん、かんぺきにちかいひとだったとおもうよ」

さつくん「たくさんあるなー。なんさつもー」

ひまより「さいごのーとの、さいごのページの、さいごにかいてあるもじは、
はえ、

ひとのこころのふれてはいけない・・・ところ？

そのこと、きづいたから・・・。

って、かいてあります」

まゆゆゆ「すみ、どういいうみなんだ？」

さつくん「さっぱりわかんないよー」

なずなず「だいじなことってことは、わかるんやけどお」

すみっこ「それは、みんなは知らないほうがいいことかもしれない。

でも、いつか、うん、いつか・・・きづくことになる」

ひまより「はえ？」

なすなす「ふりかえってみると、じんせいって・・・惨めだ」

「・・・ぐっせ・・・だけれども・・・あいされてへんのやわ」

[care-cafe : smiley-smile : 13]

すみっこ「あめふりのひのスマイル。」

あめだからか、きょうはまだ、いちげんさんはだれもきてない」

さっくん「なずなずさんと、だいがくいんせーの、おとこさんのかんけいって、いまどんなかんじですかニャー？おすすみになってますかニャー？」

なずなず「へんかなし、やでえ」

まゆゆゆ「んだそりゃ」

ひまうり「はえ、けんたいきでしょくか？」

さっくん「おなかよしの、おとこさんと、おすすみになったときに、

おくわしくおきかせしておほしいですニャー」

なずなず「わかったわあ」

さっくん「つて、すなおにいうんかいニャー」

ひまうり「はえ、おうちのかたとく、どこかおでかけするんですか？」

すみっこ「ぜんぜんわかっていない、ひまり」

さっくん「どひゃひゃひゃ。ひまーり、どんまーいー」

まゆゆゆ「おい、さく、あんまへんなこときくな」

さっくん「まゆゆゆ、どんまーいー」

まゆゆゆ「おいっ」

さっくん「どひゃひゃ。にしても、なずなずのおうちのひとつて、どんなひとなのー？」

なずなず「なずなずを、まあ・・・すてたんやわ」

ひまうり「はえ。ふほくとくきは、いけません」

さっくん「どーゆーじょーか、よくわかんないんだけど、きいてごめん」

なずなず「なずなずなんて・・・、

・・・どうせ・・・だれからも・・・あいされてへんのやわ」

まゆゆゆ「おおバカやろうかテメーはっ！

・・・あいつていうのは、そんなかんたんにいえるもんじゃねえんだぞっ！

すくなくとも、このじょうれんは、

オメーのことすてようなんてことはおもってねえ。

それに、どんなむかしのことがあったかしらねえが、

だれからも、あいされてないヤツなんて、このよにひとりもいやしねえんだっ！

ただ、テメーが、あいされてることにきづいてないだけだっ！」

なずなず「うるさいっ！

あんたはひとになんどもなんどもすてられつづけたことなんてないくせにっ。

バカバカバカバカッ、バカッ、バカッ、バカアアアアッ！」

ひまうり「はえ。ひまうりは、なずなずさんのこと、すきですよ」

さつくん「ねー、なずなずー、なきださないでよー」

すみっこ「なずな、どんまい」

まゆゆゆ「・・・わるかった。ちっと、じぶんかってなこと、いいすぎた」

すみっこ「まゆみ、どんまい」

ひまうり「なずなずなずさんく、だいじょぶですか」
なずなず「かえる。」

みんな、ふんいきわるくしてごめん。まゆゆゆくんもごめん」

すみっこ「かおをぬぐいながら、スマイルをでていく、なずな」

さつくん「いつもおだやかな、なずなずがー、あんなーかたするなんてー。
よっぱどのことだったんだよー」

まゆゆゆ「オレのいったこと、まちがってたのか？

すくなくともオレは、なずのことを、

なかのいい、おなじじょうれんのやつだとおもってる」

すみっこ「まゆみのいったことは、まちがっていなかったとおもう。

でも、なずなのいいかえたことも、まちがっていなかった。

まゆみのいうことがまちがっていなくて、

なら、なぜ、なずながいいかえたかというと、

つまり、なずなは、まゆみのいうことをしんじたかったけど、

あいっていうのをしんじられなかったから、ああいった。

だけど、なずなも、まゆみも、おたがいを、

れんあいかんじょうでなく、あいしあってる。

だからこそ、なずなは、かんじょうてきにはなっただけど、

かえるまえに、まゆみにあやまった。

あやまったんだよ」

まゆゆゆ「・・・くっ・・・う・・・」

ひまうり「まゆゆゆゆゆさんく・・・あいされてるんですよ」

[care-cafe : smiley-smile : 13]

「だれからも、あいされていないヤツなんて、このよにひとりもいやしねえんだっ！
ただ、テメーが、あいされてることにきづいてないだけだっ！」

「・・・あいされてるんですよ」

すみっこ「そして、べつのひ」

さつくん「どっひゃっひゃっひゃっひゃーっ」

まゆゆゆ「わらいごえが、いつもながらうっせーぞ」

さつくん「おはしがころがっても、おかしーおとしごろなんだよー」

まゆゆゆ「っせえ」

なずなず「ひまありちゃんに、もっとわらってほしいわあ」

まゆゆゆ「ひまって、あんまわらわねえぞ」

さつくん「ほんとだー、いつもにこにこしてるけどー、わらってるの、みたことないよー」

ひまより「はえー、ひまよりのおうちではー、てーぶるからおちたおはしをー、

じぶんでひろわずに、ひろってもらうことになってます」

みんな「えっ、ひまりのおうちってっ?！」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまより「ごきゅごきゅ」

まゆゆゆ「なにのんでんだ？あたらしいよりか？オレも、もらっていいか？」

ひまより「はいーどうぞー」

まゆゆゆ「ぐびぐび・・・なんだこれっ、まずいっ！まずすぎっ！」

さつくん「どひゃー、あらたなきよーふがー。どひゃひゃひゃひゃ」

なずなず「ひまありちゃん、いまの、なんてゆう、りよおりなん？」

ひまより「いえー、おりよりとゆうよりー、ひまよりよーの、ぜりーの、おくすりですー。

えーようほきゅーようですー」

まゆゆゆ「っ・・・そっか、わりい、へんなこといっちゃった。

まいにち、んな、まずいくすり、のんでんだ」

さつくん「へんなこといって、ごめん」

なずなず「・・・」

ひまより「どんまーいですー」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまより「できましたー、ひまりすぺしゃるきゅーごーですー」

まゆゆゆ「で、なんのにくなんだ？」

さつくん「いきなり、そのことをきくんかーいー」

ひまより「はいー、おにくはつかってませんー」

なずなず 「おいしそお」

すみっこ 「ひまり、せいちょうしたね」

ひまより 「きょうのも、おいしくとおもいます」

まゆゆゆ 「ならくってみつか。がつがつ。うん、くえなくはないぞ」

さつくん 「ぱくぱく。ほんとだー」

なずなず 「むぐむぐ。おいしい、ごおかくてんやわあ」

すみっこ 「なんてりょうりなの？」

ひまより 「やさしいための、きのこそえです」

さつくん 「きのこってゆーのが、きになるな」

まゆゆゆ 「わけわかんねえ、きのこか？」

ひまより 「まつたけです」

まゆゆゆ 「なんか、ひまに、わりいきがすっぞ。こうきゅうひん、つかってくれたんだ」

さつくん 「ちゃんとしたきのこなんだねー。おいしかったよー」

なずなず 「そこまで、りょおりを、がんばってくれたんやあ。うるうるっ」

ひまより 「きんじょのやままで、きのこがりにいきました。あしが、がくがくです」

みんな 「ってアンタ、へんなところがんばりすぎだよっ！」

すみっこ 「そして、べつのひ」

なずなず 「ひまありちゃんも、なずなずのつくったクッキーたべてえ」

ひまより 「はえ」

まゆゆゆ 「がつがつ。うまいぞ。ひさしぶりに、にんげんのたべものをくったかんじだ」

さつくん 「ぱくぱく。おいしー」

なずなず 「ひまありちゃんにたべてほしくて、がんばってつくってん」

まゆゆゆ 「がつがつ。うまいうまい」

さつくん 「ぱくぱく。おいしーなー。きのう、ねないでつくったらしーよー」

ひまより 「じゃーいただきます、もしやもしや・・・ごほっごほっ」

なずなず 「ごめん、しんどい？へんなことしてしまったみたいやわ」

まゆゆゆ 「だいじょうぶか？」

さつくん 「だいじょうぶー？」

ひまより 「いえ、せつかくいただいたんですし。もしやもしや・・・がはっ、うええっ」

まゆゆゆ 「あんま、むりすんな」

さつくん 「むりにたべるの、やめときなよー」

なずなず 「ごめん・・・」

すみっこ 「なずな、どんまい」

ひまわり 「ごほっごほっ・・・どんまゝいです」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「ごはっごはっ、がはっがはっ」

さつくん 「ひまーり、だいじょぶー？」

ひまわり 「げはっげはっげはっ・・・うえっ、うえええっ」

まゆゆ 「おい、ほけんしついくか？びょういんにするか？」

なずな 「ほんまにしんどそおやでえ」

ひまわり 「いえ、だいじょ・・・おええええっ」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「あの、すみっこさんは、どうしておりよゝりを、

あまりつくらないんでしょ？

すみっこ 「りょうりが、ひまりのやくめだからだよ」

さつくん 「すみっこのりょりのほーが、おいしーよ！。どひゃひゃひゃひゃ」

まゆゆ 「おいっ」

すみっこ 「にんげんは、きっと、

やくめをもってうまれてくるんだと、すみれはおもう。

そのやくめを、ひまりから、うばいたくないんだ」

まゆゆ 「どういうことだ？」

なずな 「ううん」

さつくん 「よくわかんないよー」

ひまわり 「はえ・・・」

な
ず
な
ず
「みんな・・・生まれてこなきゃ、よかったのに」

「みなぎ、んには・・・わから、ない・・・んです」

[care-cafe : smiley-smile : XX]

まゆゆゆ 「おい、よくきけ！」

いいか、どんなことがあっても、いのちをすてることだけはするな！
それだけはぜったいにやめる！いいかっ！どんなことがあってもだっ！

さっくん 「まゆゆゆのゆーとりだよーっ！いきてればいーこともあるよーっ！

なすなす 「あ．．．ああ．．．あう．．．う．．．がくがく．．．」

じよし 「．．．これか．．．ら．．．びよう、き、が．．．

どんど、んわ．．．るくなつて、いつて．．．、

い、きていても．．．、いきてる、か、いきてない、か．．．ごほっ、

わから．．．ない、ような．．．ひとに．．．なるんです．．．。

じんこ、う、こきゆ、う．．．き、とか、からだ．．．がほとんど、ど、うご．．．

かない．．．とか、これか、ら、がこ、わく．．．て、ねむ、れない．．．とか、

ず、と、ねたきり．．．とか、もう、こんな、じんせい．．．いや．．．です。

それ．．．な、ら、いま．．．きえてしまつて．．．ごほっごほっ、

らくにな、つたほうが．．．よつぽ、ど．．．まし．．．で．．．す．．．。

みなさ、んには．．．わから、ない．．．んです。

．．．ひまぐりの．．．ころなんて．．．」

さっくん 「ひとのころの、ふれてはいけない．．．ところ？」

ひまぐり 「．．．は．．．え．．．．．．．．．．」

まゆゆゆ 「おいひまつ！やめろっ！やめてくれっ、たのむっ！」

なすなす 「いやあああああああ！」

ひまぐり 「フラッ．．．．．フワッ．．．．．

．．．．．バアアアアアアアン！」

まゆゆゆ 「おいっ、ひまつ！だいじょうぶかつ、おいっ！」

さっくん 「だいじょうぶなの？ねえ、すみっこ、どうなの？どうなの？」

すみっこ 「ひどい。おおきなそんがいをうけてる」

まゆゆゆ 「くそっ、ばかなことしやがつてっ！」

なすなす 「．．．．．！――！」

さっくん 「きゅーきゅーしゃー！よんでっ、はやくっ！」

[care-cafe：smiley-smile：XX]

「いっか、どんなことがあっても、いのちをすてることだけはするな！

それだけはぜったいにやめるー！いいかっ！どんなことがあってもだっ！」

「ひとのころの、ふれてはいけない．．．ところっ。」

すみっこ「だれもが、だれにも、いえないんだ・・・悲しみのほんとうを」

「そのう、きつたから・・・」

[care-cafe : smiley-smile : XX++]

すみっこ「ここは、びょういんのびょうしつ。

ひまりが、ベッドのうえで、ねている」

さっくん「ねー、いままで、

さっくんたちがスマイルでしてきたことって、なんだったんだろー。

ほんとうに、ひとのちからになれたのかな？

だって、さっきだって、ひまーりをたすけられなかった」

すみっこ「すみれたちは、なにもちからをもたない」

なずなず「ほんまやわ、なんのちからもってへん」

すみっこ「でも、いまこうやって、ひまりのちからになるうとしている。

それでいいんだよ」

まゆゆゆ「それでいいだつ、なにいつてやがるっ！よくねえっ！

おれたちはっ、ひまがっ、このよからきえようとするのをっ、

やめさせられなかったじゃねえかっ！

なんにもできなかったんだっ、くそっくそっくそっくそっくそっ！

すくえなかったんだっ・・・すくえなかった・・・っ」

なずなず「むりよく・・・なんやわ・・・」

すみっこ「にんげんはみんな、ちからをもっていない。

それでもみな、ちからになるうとしてる。

そうすることで、こころをたすけることができる、すみれはおもう。

さなえは、じぶんや、ほかのひとを、

ほんとうにすくえるとか、すくえたとおもえなかった。

ほかのひとをほんとうにすくえないということでは、

さなえも、みんなも、このせかいにいるにんげんは、

だれでも、おなじだとおもう。

でも、ここにいる、スマイルのみんなは、

こころをすくえるというてんで、ちがうとおもう」

まゆゆゆ「こころをすくうだど？」

なずなず「なずなずたちが、なんのちからもってへんのやとしたら、

なずなずたちには、ひまありちゃんをすくうなんて、むりとちゃうん？」

さっくん「さっくん、おもうんだ。ちからのあるなしなんて、かんけいないんだよー。

ただ、ひとのちからになるうとして、たすけようとする。

それが、いままで、スマイルのみんながやってきたことなんだ。

そーすることで、いろいろなひとたちをほんとうには、すくえないかもしれない。

でも、すみっこのゆーとーり、こころをたすけるのには、やくにたてるんだよー」

まゆゆ 「こころをたすけるって、どうやってたすけるっていうんだ？」

なずな 「ほんまに、そんなことできんのやるか。なずなには、そんなじしん、ないわ。

さなさんみたいなかんぺきなひとでも、むりやったっていうこと、

そんなん、なずななんかに、できるわけあらへん」

すみっこ 「・・・」

さっくん 「さなさんが、につきにかいてたこと、ずっとまえから、かんがえてたんだー。

さっくん、おもうんだ。ほんとうにひとをすくうことって、

さなさんみたいな、しっかりしたひとでも、できなかったことかもしれない。

でも、さっくんは、ひまーりを、すくいたいとおもって、それだけでいいんだ。

きつと、こころをすくうためには、さなさんがにつきにかいていたとおり、

ひとのこころのふれてはいけないところ、

そのことにきづくことがひつようなんだよー。

そうすることで、なやみとか、つらさ、かなしさ、いきづらさ、そのほかにも、

ひとがかかえてるくるしみをわかって、じぶんのことのようにおもって、

そして、よりそうこと、すくおうとすることっていうのが、だいじなんだよー。

きつとそれが、ひとのためになることをするとき、

ほんとうに、いちばんだいじなことなんだよー。

そうすることが・・・ひとのこころをたすけるということなんだ」

すみっこ 「ひまりのこころをすくうことは、いまからでも、おそくない。

もちろん、ふれてはいけないことに、きづくことも。

ひとのこころのふれてはいけないところ。

そのことにきづくことは、ほんとうに、くるしいことだとおもうんだ。

でも、いまの、スマイルのみんなには、それができる」

なずな 「そやわ、きづくことやわ。

さなさんは、ひとのこころをすくうために、きづくいうことをしてたんやわ。

そうすることが、ほんまにくるしいことやったとしても、

なずなは、ひまありちゃんのことをすくいたい。

ひまありちゃんのことにつきいて、すくうことを、

なずなたちにもできるはずやで。

なずなたちには、こころをすくうことしかできんかもしれん。

でも、こころをすくうことなら、できるはずやわ」

まゆゆ 「オレたちにも、きづくことも、こころをすくうこともできる。

すみのいうように、ちからをもっていなかったとしてもだ。

くるしくても、なんとしても、ひまのことをすくってみせる」

さつくん「ひまーりと、みんなとは、なかよしどうしなんだよ。

だから、スマイルのみんなはきつと、

ひまーりのこころのふれてはいけないうちに、きづくことができるよー。

・・・ううん、そうとちがうんだ。

みんなもう、ひまーりのこころのふれてはいけないうちにきづいてる。

そしてもう、すくおうとしてるんだ。

さつくん、そーおもうんだー」

ひまーり「は・・・え・・・」

なずなず「ひまありちゃん、おきてたん」

まゆゆゆ「オレたちのはなし、ずっときいてたのか」

さつくん「むりしてしゃべらないでー」

ひまーり「はえ・・・いま・・・ひま・・・り・・・おもった、んです・・・。

ひま、りの、から、だ・・・の・・・くるしさ・・・

それを、す、まいる・・・で・・・なおす・・・という・・・のは・・・

できない・・・です・・・ごほつごほつ。ごほつごほつごほつ。

でも・・・みなさんのおか・・・げ、で・・・。

ひま、りは・・・と、ても・・・しあわせ・・・で・・・した・・・」

さつくん「しあわせ、だったのー？」

なずなず「しあわせになれたん・・・？」

なずなずたちは、すくえなかつたんとちゃう・・・？」

ひまーり「びょうきが・・・これから、さき、なおらない・・・て、わかってて・・・

ごほつ、・・・きょう・・・こんな、こと・・・

してしまい・・・ま・・・した・・・。

でも・・・ほんととは・・・いまま、で

・・・ずっと・・・しあわせ、でした・・・。

すまいるにきて・・・から・・・ず・・・と・・・しあわ、せ・・・です・・・。

ごほつごほつ、その・・・こと・・・きづい・・・たん・・・です・・・」

なずなず「うん」

まゆゆゆ「びょうきだったとしても、か？」

ひまーり「は、い・・・」

みなさ、ん・・・ひま・・・り・・・の、こころを・・・

・・・たすけてくれま・・・した・・・。

ひま、りだけ、と・・・ちがって・・・

・・・ほかのいろいろな・・・ひと、の、ことも・・・。

ほん、と……は……ひまりの……こ、と……も……ごほつごほつ、はじめ……て、あったと……きから、きづい、て、く……れ、てて……ひ、まり、は……その、こと、きづい、たん、です……。

だから……もう……びょうき……の、

こと、で……く、るしい……けど……、

いま、みな、さ……んがいて……くれて、

し……あわせ……で、もう……こんな……、

いのちを……すてる……なん、て……こと……しません……。

ごほつごほつ。

それ……で、おも、った……んです……これから……さき……、

どんな……こと……があ、て、も……、だれのま……え、でも……、

ずっと……「えがおでいよう」って……」

まゆゆ 「そうか……。オレも、ひまのこと、ずっときづいてた。

それなのに、ひまをすくえなくて、すまねえ。わりい。ゆるしてくれ。

ひまのことをたすけることができなかったこと、もうしわけないとおもってる。

でも、たすけようとずっとしてたんだ。そのこと、つたえたい」

さつくん 「ひまーりのこと、ちゃんとわかるうとした。わかるうとしたんだ。

さつくんたちは、ひまーりのゆーとーり、ずっと、きづいてたんだよー」

なすなす 「しあわせ……えがおでいる……、

よかった……よかった……よかった……」

ひまーり 「けが……が……よくな、て……から……ごほつごほつ……また……。

みなさ、ん……に……おりようり……つくります……。

い、ま……ぼろぼろと……ないて、ま、すけ……ど……。

おりようりの……と……き、は……いま、ま、でのよ……うに……、

ちゃんと、えがお……で……。……に……。……」

まゆゆ 「つはは。ああ、またミソカツつくってくれ。このまえ、くいそびれたんだ」

さつくん 「ぐすつ、ぐすつ、えへへ。あっためてない、カチカチのタイヤキもねー」

なすなす 「えっぐ……ひっく……うん、うん……コーシーグーヌーもつくってやあ」

すみっこ 「ひまりのこころのふれてはいけない……ところ。

みんなも、そしてひまりも、そのこと、きづいたから……」

ひまーり 「……は……え……、

みな……さ、ん……の、こと……わす、れ、ま、せん……。

このさき……ひ、ま……り、が……どうな……ても……。

……あ……り……が……と……う……」

すみっこ「そして、べつのひ。

いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした」
さつくん「あー、いちげんさんだー。ひまー」

まゆゆ「ひまつ。んだ、かったりいな。なんのようだ？」

なずな「ひまあ。なにか、はなしたいことあるんですやるかあ？」

さなさん「こんにちは、わたし、さなさんっていいます」

すみっこ「さなえ、がっこうに、かえってきたんだね」

さなさん「うん。しゅじんがずっといなかったんだよね。これなくてごめんなさい」

まゆゆ「アンタが、さなさんか。しゅじんなら、いるぞ」

さなさん「え？どういうこと？」

さつくん「さなさんのつぎのごしゅじんさん、いるよー」

なずな「そおやでえ。うん、いますわあ」

さなさん「そうなんだね。

わたしがいけないあいだの、いまのごしゅじんさんて、どんなひとなの・・・？」

まゆゆ「どんなひとかか」

さつくん「うんー」

なずな「そやね」

すみっこ「たとえていうなら・・・」

まゆゆ「いつもえがおで・・・」

なずな「えがおがすてきな・・・」

さつくん「みんなをえがおにする・・・」

みんな「ひまわりみたいなひと！」

[care-cafe : smiley-smile]

ひまわり「みなさんには、ずっと、どんなことがあっても・・・笑顔でいてほしいです」